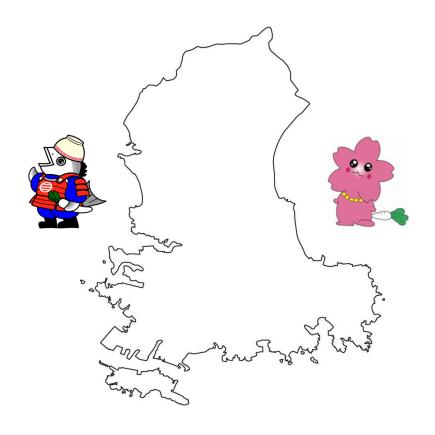
平成30年度(平成29年度実施事務事業)

三浦市教育委員会所管事務事業 点検・評価報告書



平成30年8月

三浦市教育委員会

人・まち・自然の鼓動を感じる都市 みうら

目 次

は	じ	めに :	1 -
I	ار	京検・評価の概要 2	2 -
	1	趣旨	2 -
	2	対象事務事業	3 -
	(1) 教育委員会所管事務	3 -
	(2) 点検・評価の対象とする事務事業	4 -
	3	点検・評価の手法	7 -
	(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表	7 -
	(2) 点検・評価の手順	7 -
	(3) 有識者会議	9 -
	4	総合所見	9 -
Π	ار	 た検・評価結果 10) -
	1	教育総務課所管事業	1 .
	2	学校教育課所管事業	.4
	3	学校給食課所管事業2	20 -
	4	文化スポーツ課所管事業	21 -
	5	青少年教育課所管事業	23 -
	6	総括表2	25 -
Ш	, H	数 育委員会活動状況報告20	3 -
	1	教育委員会教育長・委員名簿	26 -
	2	教育委員会会議	26 -
	(1) 開催状況	26 -
	(2)審議等の状況	27 -
	3	教育委員会会議以外の活動状況3	34 -
TV/	. =	数音委員会総合所見 - 36	გ -

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられており、点検・評価を行うにあたっては、透明性、客観性を確保するという観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

三浦市では、平成27年4月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正施行に伴い、平成27年10月より新たな教育委員会制度の下に事務事業の執行にあたっておりますが、本年度の点検・評価についても、有識者会議の委員各位のご見識とご尽力により貴重なご意見を頂戴いたしました。委員各位には、あらためて厚く御礼申し上げます。

点検・評価は、教育委員会が自己評価をするものでありますが、教育委員会 の責任体制の明確化を図り、結果を公表することで、市民のみなさまへの説 明責任を果たし、教育委員会事務事業の課題を明確にすることの意味は大き いものであると認識しています。

また、点検・評価というツールを教育委員会の組織、体制の改善や事務事業の見直しに使って参りたいと思います。点検・評価をすることが目的ではなく、それを活用することが点検・評価の目的であると認識し、教育委員会組織の充実を図り、質の高いサービスを提供することにつなげて参りたいと考えておりますので、市民のみなさまにおかれましても、この報告書をご高覧賜り、三浦らしい教育の実現に向け、三浦市教育委員会に対し叱咤激励を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月

三浦市教育委員会

1 趣旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)の一部が改正(平成20年4月1日施行)され、全国すべての教育委員会において、毎年、教育委員会所管事務の管理及び執行状況について点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することとされました。

三浦市教育委員会においても、所管事務の管理及び執行状況について毎年、 点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会(三浦市議会 第3回定例会)に提出するとともに、市民に公表いたします。

このことにより、教育委員会の責任体制の明確化を図り、点検・評価結果を公表することで市民のみなさまへの説明責任を果たし、課題を明確にすることで次の事務執行の改善等を進めます。これは、教育委員会自らが、その所管する事務事業のPDCAサイクル^{※1}を確立しようとするもので、PDCAサイクルの確立により、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることを趣旨としています。

【参考:地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者 の知見の活用を図るものとする。

^{※1:「}PDCAサイクル」

典型的なマネジメントサイクルの1つで、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(act)のプロセスを順に実施する。最後の act では check の結果から、最初の plan の内容を継続(定着)・修正・破棄のいずれかにして、次回の plan に結び付ける。このらせん状のプロセスを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

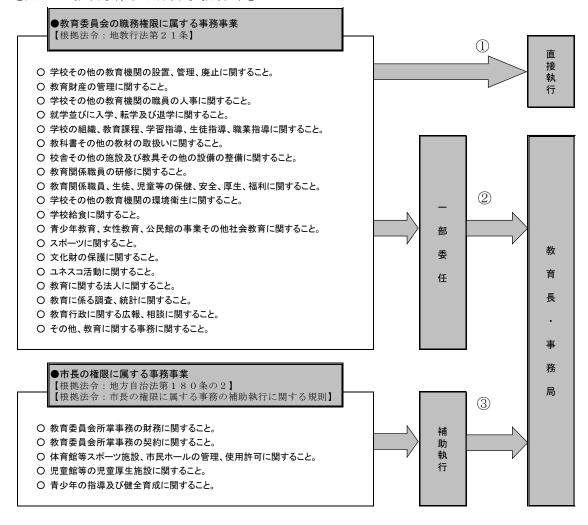
2 対象事務事業

(1)教育委員会所管事務

三浦市教育委員会は、教育長、4人の教育委員及び教育委員会事務局で組織されています。

ここで所管する事務事業は、下記の図1のとおりに分類されます。

【図1:教育委員会所管事務体系】



すなわち、

- ① 地教行法第21条に基づき、教育委員会が直接執行する事務
- ② 地教行法第 21 条に基づき、教育委員会が教育長・事務局に委任して執 行する事務
- ③ 地方自治法及び規則に基づき、市長の権限に属する事務を教育長・事

務局が補助執行※2する事務

の3つです。

点検・評価の対象は、前述の地教行法第 26 条のとおり「教育委員会の権限に属する事務」とされていますので、上記の①と②の一部を対象とすることとします。

(2) 点検・評価の対象とする事務事業

三浦市では、すべての経費を、人件費、生活保護費などの扶助費、公債費 (利息を含めた借金の返済金)などに充てる義務的経費、施設の維持管理費 などのその他経費(経常的)、それ以外の経費で、総合計画に沿ったまちづ くりの計画の具現化を進める事業に充てる実施計画事業費やその他経費(臨 時的)の区分にしています。

前2者は事業選択や予算規模に関する自由裁量が少なく、実施計画事業費 に関しては、事業選択や予算規模に関して比較的自由な裁量が可能な経費で す。

そのことから、点検・評価の対象事務事業は、年度内に教育部が達成目標を設定した事務事業のうち、「市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則」により教育委員会の教育長及び事務局職員並びに教育機関の職員が補助執行するものを除くものを基本とします。

(1)の①及び②のうち、達成目標を設定した事務事業から選択した事業に、政策的に重要な意味を持つ事業を加え、点検・評価の対象事業とします。

具体的には次の表1に示す教育委員会所管の事業のうち、「点検・評価対象」に"○"を付した事業を対象とします。

^{※2: 「}補助執行」

ある行政機関の事務を他の行政機関に所属する職員が補助して執行することをいう。市長の権限に属する事務は本来、市長の副市長以下の補助執行機関が行うが、教育行政については、規則により教育委員会が補助執行している。

【表1:教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業】

		決算		主		管	充当	権限	区分	点検		区分
No.	事業名	見込額 (円)	部門	部		課	経費	委員会	市長	評価対象	実 施計 画	その他課 題
1	小学校特別支援学級充実事業	344,430	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
2	中学校特別支援学級充実事業	109,129	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
3	教育委員会運営事業	4,486,654	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
4	教育委員会事務局一般管理事業	505,517	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
5	教育振興小学校管理運営事業	14,029,113	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
6	小学校義務教育施設維持管理事業	44,414,816	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
7	小学校施設整備事業	16,422,814	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0		0		0
8	教育振興中学校管理運営事業	11,156,303	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
9	中学校義務教育施設維持管理事業	24,365,807	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
10	小学校教育環境適正化事業	0	一体感	教育部	1	教育総務課	実計	0		0	0	
11	奨学事業	56,910,822	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0		0		0
12	公立学校施設災害復旧事業	1,621,188	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	0				
13	就学時健康診断事業	329,004	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
14	小学校疾病予防検査事業	12,633,196	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	0				
15	中学校疾病予防検査事業	6,087,910	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	0				
16	国際理解教育の推進事業	5,388,426	一体感	教育部	2	学校教育課	実計	0		0	0	
17	相談指導教室事業	1,828,797	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
18	小学校教材教具整備事業	23,080,962	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	0				
19	中学校教材教具整備事業	8,696,008	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	0				
20	障害児教育事業	15,784,456	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
21	小学校心身障害児教育充実事業	1,429,691	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	0				
22	中学校心身障害児教育充実事業	917,900	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	0				
23	教育研究所事業	2,280,357	一体感	教育部	2	学校教育課	実計	0		0	0	
24	教育指導事業	1,440,360	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
25	教職員福利厚生事業	217,000	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
26	教育指導一般管理事業	103,094	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
27	地域教育力活用事業	141,000	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
28	海洋教育推進等地域連携事業		一体感	教育部	2	学校教育課		0		0		0
29	小学校学校災害傷害保険事業	1,845,603	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
30	中学校学校災害傷害保険事業	1,124,139	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
31	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業		一体感	教育部	2	学校教育課		0		0		0
32	海難交通遺児就学奨励事業	0	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0				
33	小学校就学援助事業	14,630,543	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0		0		0
34	中学校就学援助事業	15,278,344	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	0		0		0
35	学校給食事業	153,118,484	一体感	教育部	3	学校給食課	義務	0		0		0
36	学校体育施設開放事業	1,273,637	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0				
37	スポーツ施設運営管理事業(体育施設)	55,384,824	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他		0			
38	かながわ駅伝競走大会選手派遣事業	72,270	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0				
39	スポーツ推進審議会事業	40,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0				
40	わんぱく相撲大会事業	51,904	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0				

		決 算		主		管	充当	権限	区分		点検	事簿	美区分
No.	事 業 名	見込額 (円)	部門	部		課	経費	委員会	市	長	評価 対象	実 施計 画	
41	三浦半島県下駅伝競走大会選手派遣事業	0	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
42	市民スポーツ大会事業	594,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
43	スポーツ推進委員事業	1,416,190	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	義務	0			***************************************		
44	地域スポーツ振興事業	1,800,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0			0		0
45	保健体育総務一般管理事業	917,594	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
46	文化財保護委員会事業	83,801	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
47	赤坂遺跡等埋蔵文化財緊急発掘調査事業	2,189,639	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
48	文化財施設維持管理事業	1,002,957	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
49	文化財保護一般管理事業	27,540	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
50	指定文化財保存管理助成事業	317,200	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
51	三浦市伝統芸能等伝承振興事業	1,000,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
52	三浦市文化祭事業	70,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
53	白秋記念館管理運営事業	1,960,333	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
54	三浦市民ホール事業	18,743,281	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他		C)			
55	社会教育団体助成事業(PTA)	58,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
56	社会教育総務一般管理事業	18,140	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
57	社会教育委員事業	139,668	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0					
58	社会教育講座事業	125,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0			0		0
59	人権教育推進事業	148,438	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	0		•••••			
60	姉妹都市交流事業	388,000	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	0					
61	青少年姉妹都市国際交流事業	913,120	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	0			0		0
62	子ども会活動促進事業	166,650	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	0		•••••			
63	子どもの船事業	36,842	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	0					
64	青少年教育一般管理事業	3,120	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	0					
65	成人の日のつどい事業	50,911	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	0					
66	青少年問題協議会事業	94,000	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他		С)	***************************************		
67	青少年指導員活動事業	1,166,163	一体感	教育部	5	青少年教育課	義務	0			0		0
68	児童館維持管理事業	962,780	一体感	教育部	5	青少年教育課	義務	•••••	С)		***************************************	
69	児童館廃止事業	6,588,000	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他		С)	***************************************		
70	図書収集整理閲覧事業	6,313,774	一体感	教育部	6	図書館	その他	0					
71	図書館運営管理事業	3,340,620	一体感	教育部	6	図書館	義務	0					1
72	公民館フェスティバル事業	7,962	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	その他	0					
73	南下浦市民センター維持管理事業	4,711,416	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	その他	0					
74	南下浦市民センター社会教育指導員事業	864,000	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	義務	0			haaraaaraaraa	***************************************	
75	初声市民センターまつり事業	7,874	一体感	教育部	8	初声市民センター	その他	0	 				
76	初声市民センター維持管理事業	5,360,540	一体感	教育部	8	初声市民センター	その他	0					
77	初声市民センター社会教育指導員事業	864,000	一体感	教育部	8	初声市民センター	義務	0					†
			I.			I	点検	· 評価対	象事業	美数	14	1	1

3 点検・評価の手法

(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表

三浦市議会では、毎年第3回定例会(通常9月開催の定例会)において一般会計決算の認定議案が審議されることとなっています。教育委員会所管事務事業の決算に係る審議も例外ではなく、その審議に合わせ、教育委員会所管事務事業の点検・評価を議会に提出し、公表すべきであると考えられます。このことから、点検・評価は、毎年、三浦市議会第3回定例会前に行い、同議会において報告後、すみやかに三浦市のホームページにおいて公表し、南下浦、初声の両出張所及び教育委員会教育総務課に閲覧用の報告書を備え、市民のみなさまに供することとします。

(2) 点検・評価の手順

ア 点検・評価の手順と内容

点検・評価は、次の手順及び内容で行います。

- (ア) 達成目標と実績の検証
 - 事業ごとに定めた達成目標の確認及び実績を明示します。
- (イ) 事務局自己評価
 - (ア)及びその他の情報に基づき、事務局として、事務事業の成果及 び課題と課題に対する対処方針を明示します。
- (ウ) 有識者意見調整
 - (ア)、(イ) 及びその他の情報に基づき、有識者の意見を調整します。
- (工) 教育委員会総合評価
 - (ア)~(ウ)及びその他の情報に基づき、事業手法、目標と実績及び事業効果の3点について、次の表2~表4の区分により、評価します。その際、ランクを5点から1点と点数化し、教育委員がそれぞれ評価したランクの件数に乗じて求めた合計点から加重平均を求め、4.5以上を5評価、3.5以上4.5未満を4評価、2.5以上3.5未満を3評価、1.5 大満を2評価、1.5 未満を1評価とするものとします。

なお、評価に当たっては、必要に応じて各教育委員の意見を取りまとめた付帯意見を付すものとします。

【表2:事業手法に関する評価区分】

ランク	評価
5	事業手法が適切で、改善の余地がない。
4	事業手法は適切であった。
3	事業手法はおおむね適切であった。
2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。
1	事業手法の見直しが必要である。

【表3:目標と実績に関する評価区分】

ランク	評価
5	目標が適切で、十分な実績をあげた。
4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。
3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。
2	目標設定に課題はあり、予定の実績を得られなかった。
1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。

【表4:事業効果に関する評価区分】

ランク	評価
5	具体的効果が十分に得られている。
4	具体的効果が得られている。
3	一定の効果は得られている。
2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。
1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。

(3)有識者会議

地教行法第26条第2項の規定により、点検・評価をするに当たり教育に 関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「三浦市教育委員会所管 事務事業点検・評価に関する有識者会議」(以下「有識者会議」という。)を 組織します。

有識者会議は、達成目標と実績の検証、事務局自己評価及びその他の情報に基づき、教育委員会所管事務事業の決算の状況に関する意見を交換し、調整し、教育委員会の総合評価に資することを目的とします。

【表5:有識者会議委員名簿】

(50音順:敬称略)

			氏 名	役職等
石	渡	博	幸(いしわた ひろゆき)	元三浦市立学校長
菊	池		惠 (きくち めぐみ)	元三浦市教育委員

4 総合所見

点検・評価報告書には、前2項に掲げる点検・評価のほか、教育委員会活動状況報告を掲載するとともに、効率的かつ効果的な教育行政の推進に資することを目的として、教育委員会の事務全般に対する教育委員会の総合所見を掲載します。

Ⅱ 点検・評価結果

点検・評価の結果について、対象事業を所管する課ごとに並べ、掲載します。 対象事業の一覧と掲載ページは、次の表6のとおりです。

【表6:対象事業一覧・掲載ページ索引】

		決 算 事 業 名 見込額 所管課							
No.	事業名	見込額 (円)		所管課	充当 経費	委員会	市	Ę	掲載ページ
7	小学校施設整備事業	16,422,814	1	教育総務課	その他	0			11
10	小学校教育環境適正化事業	0	1	教育総務課	実計	0			12
11	奨学事業	56,910,822	1	教育総務課	その他	0			13
16	国際理解教育の推進事業	5,388,426	2	学校教育課	実計	0			14
23	教育研究所事業	2,280,357	2	学校教育課	実計	0			15
28	海洋教育推進等地域連携事業		2	学校教育課		0			16
31	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推 進事業		2	学校教育課		0			17
33	小学校就学援助事業	14,630,543	2	学校教育課	その他	0			18
34	中学校就学援助事業	15,278,344	2	学校教育課	その他	0			19
35	学校給食事業	153,118,484	3	学校給食課	義務	0			20
44	地域スポーツ振興事業	1,800,000	4	文化スポーツ課	その他	0			21
58	社会教育講座事業	125,000	4	文化スポーツ課	その他	0			22
61	青少年姉妹都市国際交流事業	913,120	5	青少年教育課	その他	0			23
67	青少年指導員活動事業	1,166,163	5	青少年教育課	義務	0			24
					(検・評価	新教事	業数	14	

※Naについては、P5~P6の教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業のNaと一致しています。

1 教育総務課所管事業

l	. 月 杉	芯7分式	未力厂	事業												
No.					事	業名					部門	一体				
7	/]	・学校	施設素	と備事業	ŧ						部	教育				
						T = 1 = 4.	わせて			生石	課 00 数	8	総務課			
総合	大 _目	綱 - 標 -			市をめざし、 人材育成	(~心を言	147でる	***************************************	予	款項	09 教育					
計画	施			育環境の					算	目	02 / 7 - 01 学村					
事業費			事業費		国庫支出:	金県	支出金	市債	i i	1 11	その他	X 6 2	<u> </u>			
	予			101, 000	5, 219,		307,000	1				000	333, 000			
	(見:	込)		422,814	5, 267,	••••••••	153,000	d			370,	000	932, 814			
執 彳	亍	率		96. 03%	100.	92%	49.84%	9(65%	İ	68.	27%	280. 12%			
予算執行		%超				,										
執行なし	は しの理	由														
		•			平成	29 年	度 事業	内容		~~~~		~~~~				
す。					ドるスペース								る環境を整えま			
					達成目標	平」							支状況			
目標				学校の職 設備を設	員室、保健 滑する		:校と旭小学 こ空調設備?	校の職員室	、保健	室、	100%	以上	~125%未満			
日保と					るスペースを			使用するスペ	ースを	拡	達成	状況10	00%未満の理由			
実績)上宮田	小学校内	りに倉庫を設	1	上宮田小学	ど校内に倉庫	を設置	ll						
	置す	්				た。										
			成果及び課題						課題に対する対処方針							
		加田で旦	小学友				課題に対す 室、保健室、校長 学校毎に経年劣化の状									
													産し、母子仪長 した上で優先順			
	_				環境の向上を								る。また財源確			
事務自己評					動場に倉庫を設置し、放課後児童 保のため国、県の補助金等の活用を図る。 スペースの拡充を図った。 今後は平成32年度末までに長寿命化計画を											
	Щ						-						ひひ修等を行っ と改修等を行っ			
				策定し	、各学校施設	ていく。										
		必要と	なる。													
		齢1	い予算	気の中か	ら各学校の男	要望を聞き	優先順	<u> </u> 位を決めて	取り組	ヨムご	でいるこ	トロ	大いに評価が			
		出来る	。しか	いしなが	ら、現在の生	小中学校に	おける現	状は、まだ	まだ	問題	を抱えて	いる	と考える。昨			
													向けて更なる			
有 識					共に、今後で 化計画を策定						してもら	いた	い。また、抜			
意	見	/ ↑ ΛΗ3/4	、	7.区对明	16日四で水人			10 (1.7272	C / L V	0						
		評価:	項目	ランク				評	西							
		事 業	手 法	4	事業手法に	は適切でる	あった。									
		目標と	実績	4	目標設定に	1妥当で2	<u> </u>	定以上のほ	き着き		られた					
		事業			具体的効果				C/15C	- 1.3	J, 10, 12,					
		T /	793 X		の厳しい中、				₽ 1.7	- >)	・け高く	評価:	できる。特			
教	育												世代の社会進			
委員	会				喜図るうえて		-	((古)こしつ。	D A J	ا على يا	6-0 2: ¬,	16 ~ ·	TANU. 2 3			
総合評	価			近年は、経年劣化のみならず、自然災害による緊急的な修繕、改修の可能性もある。 また、狂暑や大雨等の異常気象への対策の検討な必要である。 児童・生徒・ 教職												
		付 帯	意 見	る。また、猛暑や大雨等の異常気象への対策の検討も必要である。児童・生徒、教職 員が安全に学校生活を送れるよう優先順位を決めて取り組んでもらいたい。特に、各												
				教室への空調設備についても計画的な整備を望む。 また、長寿命化計画にあっては緻密かつ適正な立案を期待する。												
				また、	長寿命化計	一画にあっ	ては緻密な	いつ適正なご	工案を	:期往	すする。					

No.			•		事業名	1				部門	一体	感		
10)	,	い会も	交教育環境適正	ル車業					部	教育	部		
			1,-₹-1	文教目環境迴止	110 争未					課	教育	総務課		
6/1	_	大	綱	一体感のある都	市をめざして~	心を合わせる		7	款	09 教育	育費			
	合画 目標 一体感を育てる人材育成 予算項										01 教育総務費			
п		施・策・義務教育環境の充実										Ļ		
事	業費	(円)	事業費総額	国庫支出金	出金 県支出金 市 債				その他		一般財源		
当	初	予	算	150, 000								150, 000		
決	算	(見	込)											
執	行	Ī	率		-	-		_			-			
予算				W 1 A										
執行	又I すなし	-		教育委員会から一分	E度の方向性を示す.	必要があったため骨	子案を策定し着	恳談会	の開	催を見送	ったた	. W		

平成 29 年度 事業内容 児童の教育環境をさらに向上させるため、平成27年に文部科学省が示した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」を踏まえ、小学校の適正規模・配置を検討します。 平成29年度は、平成28年度に行った保護者等の意見を聴取し、小学校教育環境適正化の素案を策定します。

		平成 29	年度 i	達成目標	平成	2 9	年度	実績	達成状況
目標 と 実績	会の	関係者、地域 開催:5回 校教育環境)		等による懇談 の素案策定:	三浦市立小学 関する基本方			なび適正配置に 話定 : 1件	75%以上~100%未満 達成状況100%未満の理由 教育委員会から一定度の方向性 を示す必要があったため骨子案 を策定し懇談会の開催を見送っ
大順				4 CD TD 475-EB 878				B.T. (たため
		44 女 禾 巨		成果及び課題 数本会議会(_	一油士	بر <u>ب</u> در		対する対処方針
					の協議を経て 置に関する基				成の有識者等による懇談会を ま本方針に反映させていく。
事務		(骨子案)	を策定し	た。					B-1 33 211-2001 C C C C C C
自己評	曲				計については	地域の			
		声を聞くこ	. とか必要	となる。					
									には、敬意を表する。しか
									、平成29年度の事業が円滑 例外ではない。統計的にも
									かなければならない時に来
有識									を参考に、学校関係者・地
意	見								を経て、基本方針を策定し ての指針を明確にされて取
		り組んで欲		/この/(こり虫 V *)	忌応と美11万−	と付つ	(、教	月安貝云とし	(の指針を別権にされて収
) //LL/ 0 C Fy	(0.0						
		評価項目	ランク				評	価	
		事業手		重業王注)	は適切であっ) * -	PΤ	Ш	
		目標と実績					会出し	の実績を得	られた
		事業効果	-		よ <u>好</u> ヨ しめり 長が得られて			ツ大順で付	940/00
		尹 未 刈 :	_	1				7.済ご担告・1	配置は急務である。
│ 教 │ 委 員	育 스								配直は急務である。 であった。実際に地域の理
総合評			解を得る	ていくのはと	てもデリケー	- トな	問題では	あり、難しい間	問題が山積しているが、地
		// ## ** 1						ることを希望っ	
		付帯意	- WK/CZ/						き、統合のメリットを多く れる事を第一に考え進めて
			もらい		010010	J Mª JÚ;	マ レルコ	アスエロで 込む	いるぞと勿 に行ん歴のし
				Ü					

No.				•	事業名	1				部	門	一体感	
11		K	妥学日	主 坐						音	ß	教育部	
	スナザ木									詩	₽	教育総務	5課
40	^	大	綱	一体感のある都市をめざして~心を合わせる _ 款 。								費	
	合 目標 - 体感を育てる人材育成 予 項								01	教育	総務費		
HI I		施	策	みうらっ子を地:	域で育む風土づ	くり		7	目	02 事務局費			
事	業費	门门)	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債		その他			-	-般財源
当	初	予	算	57, 320, 000						57, 3	320, 0	000	
決	算	(見	込)	56, 910, 822						56, 9	910,8	822	
執	行	ř	率	99. 29%	-	-		_			99. 2	29%	_
予算:)%超										
執行	又I テなし	-	由										

平成 29 年度 事業内容

大学等に進学を希望しながら経済的な理由により進学が困難な学生に対して修学を支援します。 平成29年度からは制度を拡充し、従来からの無利子貸付とともに給付金を支給し、入学時に要する経費の負担軽 減を図ります。

	平成 2.9 年度 達成目標	平成 2.9 年度 実績	達成状況
目標	奨学貸付金貸付人数:10人 奨学給付金給付人数:4人	奨学貸付金貸付人数:10人 奨学給付金給付人数:4人	100%以上~125%未満
٤	貸付終了者が上級学校進学若しくは就職	2 * * * ***** - * * * * * * * * * * * *	達成状況100%未満の理由
実績			

成果及び課題		課題に	対する対処方針
給付型を創設したことにより私	経済的理由で進学が	奨学金貸付人数の増	l.
困難な学生に対し従前以上の支援	爰ができた。		

事 務 局 自己評価

は無な子生に対した。 給付型を創設したことによる応募者の増加への対 応が課題である。

有識者

大学、短期大学、専門学校等に進学を希望する学生に修学支援を行う本事業は大変重要な事業である。きちんとした予算確保がされ、平成29年度より従来の貸付奨学金に加え、給付奨学金制度が出来たことは大変喜ばしいことであり、三浦の未来の人材を育てるという意味では、大きな成果と考える。今後も経済的に恵まれない学生にとって有意義な事業になる様、市民に対し幅広くPRに努めてもらいたい。

	評価項目	ランク	評価
	事 業 手 法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。
	目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。
教 育 委 員 会 総合評価	付 帯 意 見	ターでる は高く記 今後。 の経済的	が修学支援を的確にしていく事は、その自治体の文化的なレベルのバロメー ある。教育較差が声高に叫ばれる中、給付型奨学金制度を創設し実施したこと 平価できる。 とも、経済的な理由で希望する進路に進むことができない、向学心のある学生 内な負担の軽減を図り、三浦で社会人となって活躍できるよう、事業の充実発 い。

2 学校教育課所管事業

No).				部門			一体	感				
1	6	F	-1 1/4/X I	田砂芸芸の批准	古坐					뉟	fß.	教育	部
''	16 国際理解教育の推進事業									課			教育課
665	大綱 一体感のある都市をめざして~心を合わせる								款	09	教育	責	
	総 合 計 画 目 標 一体感を育てる人材育成 算									01	教育	下総務	費
П		施	策	みうらっ子を育	03	03 教育指導費							
事	丰業費	代円)	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債		その他				一般財源
当	初	予	算	6, 558, 000									6, 558, 000
決	算	(見	込)	5, 388, 426									5, 388, 426
執	執 行 率 82.17%									-	82.17%		
予算	予算執行率100%超												
執		スは 執行なしの理由											

平成 29 年度 事業内容 児童生徒の英語学習の充実を図るとともに、国際交流への関心度を深めるため、姉妹都市ウォーナンブール市より招聘した国際交流推進非常勤講師や外国人の外国語指導助手(ALT)、市民有志による外国語活動支援員を小 中学校に派遣し、分かりやすい英語授業づくりを支援します。 なお、平成32年度の小学校英語の教科化に伴い、国の外国語青年招致事業(JETプログラム)を活用した外国

語指導助手について、先行実施期間である平成30年度からの増員に向け取り組みます。

11日 年 男	十(二	70°C,	九1、	「夫肔丼	明間 でめる 1	△成30年度から	の増貝(こ回(ブリ)	(り組みよう)	0
		平成 2	2 9	年度	達成目標	平成	2 9	年度	実績	達成状況
	小学 AL 外国	校での英語 T:46日/ 国語活動力	吾授業 年 え援員	実施:200日/	/年	小学校での英 ALT:42日/ 外国語活動	小学校での英語授業実施 ALT:42日/年 外国語活動支援員:174日/年 国際交流推進非常勤講師:2日/週			75%以上~100%未満 達成状況100%未満の理由 小学校ALTについては、AL
目標 と 実績	中学	祭交流非常 校での英言 祭交流非常	吾授業	実施		国際交流推議 中学校での英 国際交流推議	語授業実	施		Tの体調不良等により日程変更を予定していたが、その後、日程の調整がとれなかったため。また、外国語活動支援員について、人数増を考えていたが人員確保ができなかったため。
					成果及び記					二対する対処方針
事務自己評	_	らした 会話で成 期間が の方策	授業32年332年話の1	を交変変の動つ実流に小度よし	し、児童生 人ので 大り 大り は い で 英 り 開 化 は る は る は り は り は り は り は り は り ま う も う も う も う も う も う る る る る る る る る る		ら、英 の移行 校におめ	を た に 組 ん し 化 は	30年4月より ち1名を小学 、特に小学 いる。 しながら、 しな要と考え	し、国際交流推進非常勤講師 12名体制とすることができ 校での専任講師とすること 校での英語活動の強化に取り 今後も小学校英語活動の体制 ており、外国語活動支援員の に向け、取組を進めていきた
有 識	者見	保や現 標に対 し、非	場の し充 常勤	整備に 足でき 講師の	努力されて ておらず完 確保、充実	きたことは評価 全であったとは が重要である。	iができ 言えな 姉妹都	る。した い。平原 市からの	かし、本来確 成32年度の小 の国際交流推	な努力をされ、ALTの確保されるべき配置日数が目保されるべき配置日数が目、学校英語の教科化も考慮 性進非常勤講師やALTや外後も努力して欲しい。
		評価項	目	ランク	ל			評	価	
		事業:	手 法	4	事業手法	去は適切であ	った。	******************************	***************************************	
		目標と	実績	4	目標設定	定は妥当であ	り、予	定以上	の実績を得	身られた。
		事業	効 果			効果が得られ				
教 委 員 総合評		付帯;	意 見	収になれる。	ることは、タ がることが 対32年度の/ れに配置で されるが、タ	外国語学習を含 期待される。 小学校教科化に きたことは高く 外国語活動支援 導者)のホーム	め非常 向けて、 評価で 員につ	こ重要な . A L T きる。 ⁴ ハてはD	な位置を占め でを2人体制 で後も人材確 な報紙に掲載	交流をしながら異文化を吸ており、将来の三浦の発展にし、小学校、中学校のそ保が一番の課題になる事がしたり、J-SHINE得方法を取り入れ、その発

T					* -					12.00	*	**
No.				事 	業名					部門	一体原 教育部	-
23	教	育研究所	事業							部課	教育市 学校教	
	大	細 一体原							款	09 教	5	A H WA
総合	目		感を育てる					一 予	項	01 教	*************	 費
計画	施	策 みうら	うっ子を育	む教育力の	向上	***************************************		昇	目	03 教	育指導	 費
事業費	費(円)	事美	美費総額	費総額 国庫支出金 県支出金 市			市債			その他		一般財源
	予		2, 688, 000			1, 480, 000						1, 208, 000
	(見 i -		2, 280, 357			1, 153, 883	ļ		-			1, 126, 474
執 行 予算執行	•	率	84. 83%		-1	77. 97%					-	93. 25%
又	は											
執行なし)の理由	<u> </u>		平成	2.0	左	中家					
児童生	徒の学	を習や学校	生活に起り			年度 事業		-配置	ř l.,	保護者	や児童	生徒の相談に
応じます		H () [A	1111 (C/G)	3 / WHIPIAZ	3(-71/6.)	01000		. но р		IN IIX II	1703	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
				旦金を交付し 推進し、教職							1、極業	た字歩しま
す。	子仪に	-ねりる仪	四班元を1	圧進し、教制	は貝の耳貝	[の円工を区	10 - 51-9	· y 、	7 7 11	1999	₩ 技术	を夫旭しよ
なお、										事業」	及び「	人権教育総合
推進地域			、各学校で 年度 i	で研修会を実		な職員の資質 成 29					達成	44 温
		+ 成 29 目談員の配		主队日 惊		- 成 と 9 員の配置: 29		刊		75%		仏 流 100%未満
				の実施:11校	40 - 14 11 110			i:11t	交			
				研究事業によ			 性地域研究	業に	よる			%未満の理由 置を相談が集中
目標と		を会の実施: 数育総合推:		による研修会		修会の実施:11校 権教育総合推進地域事業による研修会の					要末に集	中的に行った結
実績		色:11校	,,,		実施:11				•	果、配置	登日数が	少なくなった。
			J.	成果及び課題	1			課	題に	対する対	寸処方釒	it
				日数は少なが	かったが、	・年度末に						オローアップ
	á			的だった。 ら、人権教i	育総合推	作	研修を開催				-	度も学びづく
	į			くり推進地域								及り子りって したので、引
事務	<i>1</i> □ <i>J</i>			負担が生じる 資質向上の-			き続き研修	等に	取り	組む予	定であ	る。
自己評	曲			貝貝門工の であり、今行								
		研修を行う	など、そ	の成果が単年	年度のもの	のではな						
		く、継続で る。	ごきるよう	な取組を行う	うことが,	必要と考え						
		20										
		児童生命	‡の学習や	学校生活の	諸問題に:	対応する為	】 教職員白.	身の	な 質 に	白 ト・石	肝鑽/けま	重要な事であ
												りにも大きな
												》、教育課題 ************************************
有 識	有											など、積極的 可意義な研修
意												できるように
	-	委員会とし	ての支援	を図って頂き	きたい。							
		評価項目	ランク				評	西				
	Ĩ	事業手	法 4	事業手法に	は適切で	あった。			•			
		目標と実	積 4	目標設定に	は妥当で	あり、予定	定以上の舅	こ績 る	を得	られた	0	
	;	事業効:	果 4	具体的効果	果が得ら	れている。						
; 1 /L	<u></u>		県の祖	研究組織及び				也道な	よ取り) 組みを	行って	いることに
数 委員	育会		ついて大いに評価したい。研究成果を各学校に還元することは教職員の資質向上に大きな向上をもたらすと思われる。今後もこのような事業には積極的であって欲しい。									
総合評				上をもたらす 目談員の配置								
		付 帯 音		不安なく学								
		, and the	では対応	芯しきれない	*事態もお	らると思うσ	つで、日数に	は確り	€に存	催保して	いただ	くよう希望
			する。									

No.			事業名	1				部門	一体感	ţ
28	海洋教	枚育推進等地 域			教育部 学校教					
総合計画										4
事業	費(円)	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債		その他			一般財源
	予 算 (見 込) 行 率			_					-	_
Z Z	予算執行率100%超 又は 執行なしの理由									

平成 29 年度 事業内容

三浦らしい海洋教育の推進及び地域と連携した教育に取り組むことで、郷土三浦への愛着を深め、地域社会への

関心度の向上につなげます。 (一社) みうら学・海洋教育研究所や東大三崎臨海実験所等の関係機関と連携し、市内の全小中学校で海洋教育 授業を実施するほか、子どもたち自身が各校の取組を発表し合う機会を新たに設けます。

	,						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		. 0	
		平成 29	年度 i	達成目標	平成	2 9	年度	実績	達成状況	
目標 と 実績	市ホ 海洋 海洋	教育教材を活ームページで 写真コンテス 写真コンテス 9等での展示:	の情報発信 への開催:1 、優秀作品	言:3回 回	海洋教育教材を活用した授業実施:11校 市ホームページでの情報発信:3回 海洋写真コンテストの開催:1回 海洋写真コンテスト優秀作品のみうら市民ま つり等での展示:4回			100%以上~125%未満 達成状況100%未満の理由		
			E	成果及び課題				課題に	<u>」</u> 対する対処方針	
事務自己評	_	所等との連 に加えた。 今との後枠 大きな 大き 大き 乗 乗 制 も	度携海 洋み必 (り育 を「考	一社) みうし、人材育成の集い」ないに事業: 中心に事業: みうら学」。	ら学・海洋教 や教材・教具事 ど、新たな を展開するが との関連性も	の整備 業展 よめた	係者と行うこ	ら学・海洋著: ○の連携など、 - とが必要と≉	教育研究所と連携し、地元関より地域に根ざした事業を より地域に根ざした事業を 考える。	
有 識意	者見	様々な工夫 考える。変 育を推進す 義があるの	をしなが 化に富ん るには恵 ではない	ら各関係機同 だ海岸があまれた環境 かと考える。	関や地域と連 り、沢山の生 といえ、三浦 、みうら学・	携する き物がし 海洋教	ことで、 存在し、 ての海 育研究	、効果的な教、又、水産業 洋教育が、明 所や関係機関	成果を上げ、平成29年度も 育活動になってきていると が盛んな三浦の海は海洋教 確に教材化されることは意 、団体と連携し、海洋教育 を長期的に考えていく必要	
		評価項目	ランク				評	価		
		事業手法	4	事業手法	は適切であっ	った。				
		目標と実績	5	目標が適り	刃で、十分な	ょ実績	をあげ	`た。		
		事業効果	§ 5	具体的効果	果が十分に着	事られ	ている	0		
教 委 員 総合評		付帯意見	ざす素調り、「注意では、 り、「注意では、 対源である。 るため、 その記	情らしい教育 毎洋教育ので の問題が立ち 今後の予算 為にも地域に	育である。三洋 つどい」では、 らはだかってい 算について引き こ向けて、その	甫市一次 いるが、 き続り か	丸となっ 学校の男 こ 対をし 強み、肩	って、事業のタ 見童も個性豊々 事業を長期にね してもらいたい	に発信していくべきであ	

No.			事業					部門	一体感		
								部 教育部			
31	地	域ぐるみの学校安	全安心体制	整備推進事業				課	学校教育	新課	
	大	綱 一体感のある都下	†をめざして~	~心を合わせる			款	1.0			
総合計画	目	標 一体感を育てる	人材育成			予算	項	 			
	施	策 みうらっ子を地址	或で育む風土~	づくり		开	目	03 教育	指導費		
事業費	,	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債			その他	-	一般財源	
	予										
	(見 ù -										
執 行 予算執行	,	率 -		_		- 1			-		
又	は										
執行なし	∠の理 Ε	B									
24 4-5 1	~ ~	はせる80万米8F ロ		29 年度 事業		v.)J-	フ 中	14 + 17+		12 42 かき	
して教育	を受り	地域の関係機関・団 けることができるよう									
る支援を	行いま	きす。									
	3	平成 29 年度 達	成目標	平成 29	年度 実績				達成状	況	
		各小中学校でのスクールガード活動の実 施:学校課業日全日						100%	以上~1	25%未満	
目標	施:学							達成物	犬況100 %ま	ミ満の理由	
と 実績											
JC 1130											
		成	果及び課題			課題	夏に対	対する対	加方針		
		地域の積極的な協力		「校時の子どもた					. ,	状況にある	
		ちの安全が図られてレ スクールガード活動	- 0	√ 5.10年以上終過	ため、活動E 重点的な配置		. –				
事務	局	していることもあり、			玉がりから	르 ′ よ	ر ۷	工人//->	公安(0)	.a.o	
自己評	_	ルガード登録者数が洞	載少傾向にある)							
		スクールガード活動	めについて10年	三以上経過したこと	ともあり、地	域に	定定	音してい	ると思ね	つれ、平成	
		29年度も各校の実態に	1応じて、地域	丈のボランティアの	の献身的な支	えて	で取締	且まれて	いるとネ	考える。ス	
		クールガードの登録者 キム東共祭がおきてい									
有 識:	百	きな事故等が起きてレ 教育委員会が明確なヒ									
意	兄.	表	/1,0	~ ~ ~ ~ 1 \\ \ \ ,		الاتيه	, , ,	111 25/1 1/	/u/\ & =		

	評価項目	ランク	評 価
	事 業 手 法	4	事業手法は適切であった。
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。
	事業効果	4	具体的効果が得られている。
教 育		全の為り り、本 の安全 化を図	学生が事件に巻き込まれる事案が発生している中、子どもたちの登下校時の安 こ、各地域の積極的な協力によるスクールガードは非常に大切な取り組みであ 当に良き活動をして下さっていると感謝している。今後も、登下校時の子ども を守るために、年に一度くらいの全体講習を行うなど、引き続き取り組みの強 っていかなければならない。 確保が課題であるが、活動団体との連携など工夫をこらし、PR活動に努めて たい。

I	lo.			•	事業名		事業名										
	33	,	\ ⇔ t	5. 计学控册重要						剖	教育	 育部					
	33	3 小学校就学援助事業										交教育課					
443	大綱 住み心地のよい都市をめざして~暮らしを支える ************************************									09	教育費						
総計		目	標	子どもを産み育	てたくなる環境	づくり		予算	項	02	小学校	費					
П		施	策	子育て支援の充	実			» д	目	02 教育振興費							
	事業費	(円))	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債			その	他	一般財源					
当	初	予	算	14, 171, 000	53,000					4	62,000	13, 656, 000					
決	算	(見	込)	14, 630, 543	50,000					4	62,000	14, 118, 543					
執	執 行 率 103.24% 94.34% -									1	00.00%	103. 39%					
予	予算執行率100%超									er = 136 l = - 3 3							
#	マは 認定者数が予算に比べ増加したこと、また新入学学用品費の国基準額の見直しに伴う支給額の増加のため 執行なしの理由									負の増加のため							

平成 29 年度 事業内容

	平成 29 年度 事業内容 経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。										
		は、所得によ し分に対応し		長準を生活保	護法に定める	5 最似生	E活費の	1. 2倍から1. :	3倍に引き上げるとともに、		
和良賃の.	兄旦	し分に刈心し	ンより。								
		平成 29			平成	2 9	年度	実績	達成状況		
	//		単を生活保	と護基準の1.3		主基準を	生活保証	隻基準の1.3倍	100%以上~125%未満		
目標	倍に	引き上げ			に引き上げ				達成状況100%未満の理由		
と 実績											
夫禎											
				成果及び課題				== B5 (−	<u> </u>		
		亚出90年			・ E基準を生活	/中 ## 甘	生 经		対する対処方針 5他市町村の状況等について		
					E 基単を生品 ベ遜色のない				5個川町州の状况寺について検		
		となった。	- 31 C	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	20 00 00 00	ш,	討する		7777 7678 7777 4 1 = 1		
事務」	局				_支給を実施						
自己評	_				5平成30年度	より中					
				し支給を行う	-	古公に					
		今後は、小学校入学予定者に対する前倒し支給に ついて、検討を進めていきたい。									
			.,								
									ある。教育委員会としてき		
		ちんとした事業内容を設定し、平成29年度も堅実な取組がされたと考える。小学校入学前の児童への対応や、他市と比較して水準が下回らないという点では、教育委員会の努力に敬意を表する。適									
	.	切に学校現場の状況把握に努め、新入学時に間に合う様、効果的で充実した事業展開を図ってもら									
有識:	者 見	別に予収元易の状況に強に劣め、利ハ子時に同に百万塚、別木町で九天しに事未成所を囚りてもりいたい。									
- 思 .	元	,									
		評価項目	ランク				評	価			
		事業手法	4	重業王津に	は適切であっ	7 F-	PI	Im.			
		目標と実績	 	}			定じ上	の実績を得	らわた		
		事業効果	ļ					グ大順で付	94070		
		争未劝术	_		とが得られて			- フナ版ル し	コムモルタファナフ ヨウ		
	育		3						切な取り組みである。認定 高く評価できる。今後も予		
委員 総合評			4		「い、仮助を写			すし/ここと/よ店	可く叶叫くさる。ケ後も丁		
INC CLIET	Щ		8					代況を想定し、	慎重に進めてもらいた		
		付 帯 意 見						-· · ·	-		
			5								

No.			_		事業名					部門	一体原	艾
34		F	中学村	交就学援助事業							教育音 学校教	·
総合計画		大目	標	住み心地のよい 子どもを産み育	予算	款項	09 教育	校費				
事業	書	施 策 子育て支援の充実								02 教育	振興犯	<u></u> 一般財源
当初		予	算	15, 279, 000	143, 000	ポスロエ	11 12			120,	000	15, 016, 000
決	算(見	込)	15, 278, 344	143, 000					120,	000	15, 015, 344
執	行		率	100.00%	100.00%	-		-		100.	00%	100.00%
	を算執行率100%超 又は 執行なしの理由											
	平成 29 年度 事業内容 経済的が理由により許学困難が生徒の保護者に対し 学田品豊や絵食豊等の採											

経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。

平成29年	平度に		る認定基		護法に定める				8倍に引き上げるとともに
	3	平成 29	年度 道	達成目標	平成	2 9	年度 実績		達成状況
		こよる認定基準	を生活保	護基準の1.3	所得による認定	・基準を生	活保護基準の	1.3倍に	100%以上~125%未満
目標 ピ	倍にら	目き上げ			引き上げ				達成状況100%未満の理由
実績									
			Fi.	 、果及び課題				課題に対	 対する対処方針
			まは、所:	得による認定	E基準を生活			支給項目	や金額について検討を行
		準の1.3倍に となった。	引き上け	、他市と比	ベ遜色のない	、基準	い、より実	効的な取	組となるよう制度設計を
事務局	ᇑ	近年、新ス			_ 支給を実施		,,,,,,		
自己評价					ら平成30年度 う予定である				
		1000117		0) () () () ()	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0			
		라까산때=	日米パイト	生の基本機/	\45 <i>h</i> t+.10=r	1 711	ノ 1. 水手囲む	・事業へ	ある。教育委員会としてき
									める。教育安貝云としてる る。中学校入学前の生徒〜
									の努力に敬意を表する。 した事業展開を図ってもら
有識者		別に子仪呪》 いたい。	易 ♥ノ ∤八 {兀 :	に強に劣め、	栁八子时に	目]((二,口,	り体、効果的	アで元夫	した事業展開を凶つてもら
	元								
		評価項目	ランク				評 価	-	
		事業手法	4	車業毛法に	は適切であっ	↑ ↑	百十 1川	I	
	۰	目標と実績	4		は妥当であり		定以上の宝	結を得	られた
	۰	事業効果	4		マコマの Pが得られ [、]			194 C 10	-5407-6
】 教 『	育		_					援は大切	リング 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
委員会	会						よく 改善した	ことは高	Rく評価できる。今後も予
総合評価			項目別		≣用される事 ⊧代と共に変々	-	らのもあるの	で、随時	- 持検討・見直しを行ってほ
		付帯意見							

3 学校給食課所管事業

3 学	校給:	食課所領	管事業										
No.	•			事	業名					剖	7門	一体	感
35	24 J.		¥.							i	部	教育	部
33	子化	交給食事業	E								課	学校	給食課
<i>₩</i> Δ	大 絹	■ 一体感の	のある都	市をめざし	て~心	を合わせる		予	款	09	教育	育費	
総合計画	目標	票 三浦が-	一体とな	る文化づく	り			算	項	04	学校	交給負	- 費
m <u>—</u>	施り	を 歴史文化 かんりゅう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	匕の伝承	と活用				3 F	目	01	給負	食管理	費
事業費	(円)	事業費	貴総額	国庫支出	金	県支出金	市債			そ(の他		一般財源
当 初	予 算	I 151,	946,000										151, 946, 000
決 算	(見込)) 153,	118, 484	***************************************							10,	000	153, 108, 484
執 行			100.77%		-	_		_				-	100.77%
予算執行2		一 二 一 一 一				備費により実施。							
執行なし		三崎中学	² 校給食 ²	交内運搬業務	委託を補	補正予算によりま	手施。						
				平成		年度 事業 也元産の新鮮な							
達に寄与	学校給1 してい・ 平	食費(保護く学校給食	を実施し			、使用食材の平成 29給食法に則り、	年度 実	績				達月	もに健全な発 支状況 ~125%未満
日檀	新たなは	也産地消メニ	ューの開		び機器生管理また、記滑に学た。新たが	編集伝に見りた。 経験の保守点検2 退に留意した適盟 調理等業務の委 地校給食を安定的 な地産地消メニ 給食費(保護者	や保全補修を こな管理運営 託化により効 かに提供する。 ユーの開発10	行い、 を行っ 率的 ことが 牛	衛 た。 で円 でき				00%未満の理由
				戈果及び課題	_ 							加 方	
事 務月自己評価	る	給食事業をとれた。 施豊かかい産とでいる。 とくれている。 とくが更にあたり、	とされますが、できています。これでは、用既を実給をですった。というです。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	、食物アレル 生管理の入れで を取り、ないではいれています。 では、までいるでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	レりたえ 尾更メ 開 にん 産課身 すっかん 産課身 すっかん かり こがい かい こう かい	対応を適切に だ。 地消の取り組 題となってい 」が調達でき	今後もカー	T. 無な - の充	野来を	そと、	水って	品を行いく。	舌用した地産地
有識 意	者見 り	。特に、約 は成果と ほしい。 ますます其	総合計画 考える。 また、従 明待が高	の意図を明確 今後も、三済 来からの懸 まり、今後	権に捉 甫市の 案であ も児童	していること(えながら、児! 生産物につい った給食費の) 生徒に喜ばれ しっかりやっ	童生徒に地 て給食の面 見直しに着 る美味しい	産地に	肖メ も理 きた	ニュ 解が こと	. 一な 進む : も評	どを とよう で価す	提供できたこ な取組を進め
	1	評価項目	ランク				評(西					
	事	業手法	5	事業手法法	ぶ適切	で、改善の	 余地がなレ	١.					
	目	標と実績	5	目標が適り	刃で、	十分な実績	をあげた。						
		業効果	5	***************************************		分に得られ、			**********			***************************************	***************************************
教 章 委 員 章 総合評値	育会		三浦の 食育は は、三流 は、三産 は 地 豊 だ の開発	の学校給食は 那土変きの ボールで は ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで ボールで は ボールで ボールで ボールで は ボールで は は は は は は は は は は は は は	は美味しまた切れると言いこれ かると言いこれ い。	しく安全安心と な取り組みであ	と他市からの ある。特にロ レギーの児 後も水産品を	中学校 電・生 学野菜	をまたを	で給 への 舌用	食を配慮した	提供 は高 地産	していること く評価した 地消メニュー
					16					`			~

4 文化スポーツ課所管事業

No.			事	業名				部門	一体	
44 ±	也域スポーツ	ソ振興事	業					部	教育	f部 ニスポーツ課
大	綱 一体感(のなる契	古ためギして	こ~心を合わせる			款	課 09 教育	8	ころ ホーク 珠
総合			る文化づくり			予	項	06 保例		
計画一品施			リエーション			算	目	 		7.0 育総務費
事業費(円) 事業	費総額	国庫支出金	金 県支出金	市	債		その他		一般財源
当初予	算 1,	800,000								1,800,000
決 算(見	込) 1,	800,000								1,800,000
執 行		100.00%		-		-			-	100.00%
予算執行率100 又は	%超									
執行なしの理	曲									
			平成	29 年度 事業 、競技力向上選手育						La balanta and
				金を交付し運営をサ					\	D. Uh are
	平成 29			平成 29		実績	ア - 大・	1000		成状況
	浦市体育協会な する「三浦市総			「三浦市総合体育大会 成強化事業」「スポーン						-~125%未満
日煙 向上	選手育成強化	事業」「スズ	ポーツ少年健	の実施			-	達成	状況1	00%未満の理由
全育	成事業」の継続	長実施		[内訳]三浦市総合体育 L120:1-272 /	扩大会H28	:1,506人	٠,			
実績				H29:1,272人 競技力向上選手育成	強化事業F	128:21件	: ,			
				H29:26件	L- MI					
				スポーツ少年健全育成§ H29:420人	事業H28:48	89人、				
		F	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110.110/(鲤鱼	誀1-	対する対	t 加. ‡	¬ 4+
		13	(木及い 体歴							
	前年度と同	司様に開	崔した三浦市	ī総合体育大会15種	三浦市		•••••			 き続き行う。
	目の参加者数			5総合体育大会15種 29:1,230人でわず	また、	が体育協 体育協	;会^ ;会^	、の支援 、は未経	を引 験者	き続き行う。 を対象とした体
車 数 巳	目の参加者数 かに減少。	数はH28:	1,243人、H2	29:1,230人でわず	また、験教室な	「体育協 体育協 よどの啓	;会^ ;会^	、の支援 、は未経	を引 験者	き続き行う。
事務局自己評価	目の参加者数 かに減少。 人口及び一 普及並びに扱	数はH28: 子どもの 長興のた	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ		また、験教室な	「体育協 体育協 よどの啓	;会^ ;会^	、の支援 、は未経	を引 験者	き続き行う。 を対象とした体
	目の参加者数 かに減少。 人口及び=	数はH28: 子どもの 長興のた	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ	29:1,230人でわず 中で、スポーツの	また、験教室な	「体育協 体育協 よどの啓	;会^ ;会^	、の支援 、は未経	を引 験者	き続き行う。 を対象とした体
	目の参加者数 かに減少。 人口及び一 普及並びに扱	数はH28: 子どもの 長興のた	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ	29:1,230人でわず 中で、スポーツの	また、験教室な	「体育協 体育協 よどの啓	;会^ ;会^	、の支援 、は未経	を引 験者	き続き行う。 を対象とした体
	目の参加者数 かに減少。 人口及び一 普及並びに扱	数はH28: 子どもの 長興のた	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ	29:1,230人でわず 中で、スポーツの	また、験教室な	「体育協 体育協 よどの啓	;会^ ;会^	、の支援 、は未経	を引 験者	き続き行う。 を対象とした体
	目の参加者数 かに減少。 人口及び一 普及並びに抗 は現状維持を	数はH28: 子どもの 長興のた。 を目指す。	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ	29:1,230人でわず 中で、スポーツの	また、験教ないり	が体育協 体育協 などの啓 たい。	会^	、の支援 へは未経 舌動をよ	を引験者の	き続き行う。 を対象とした体 層の充実を求め
	目の参加者数かに減少。 人口では現及び一番は現状維持を は現状維持を 市民、広いたがら、広いたが	数はH28: 子どもの 長興のた を目指す。 力向上や 意味で市	1,243人、E 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を 民のスポーツ	29:1,230人でわず 中で、スポーツの 人口の増加若しく (側面から支える事 で振興に寄与してい	またなった。	所体育協 体育協 などい たい。 そ の 役割 で が に が が に が の の の の の の の の の の の の の の	会会発制はも	への支援経 大・ 大・ 大 ある。 市	を引きます。考えの	き続き行う。 を対象とした体 層の充実を求め こる。しかしな ごを向が多様化
	目の参加者も かに対しなびに がしてが は現状維持を 市らいる状況 している状況	数はH28: 子どもの 長興のた を目指す。 力向にで市 兄の中、	1,243人、E 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を と で と で で で で で が が は の 、 スポーツ	29:1,230人でわず 中で、スポーツの 人口の増加若しく (側面から支える事 で振興に寄与してい で、次に乗りである。 で、次によっています。 では、またいまたいまたいます。 では、またいます。 では、またいまたいまたいます。 では、またいまで、またいまたいまで、またいまたいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまたいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまでもで、またいまで、またいまでは、またいまで、またいまでもで、またいまでもで、またいまでいまで、またいまで、	またなないりとといって言は	所体育協 体育協 といたい。 の 役 に が 、 市内 に で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	会会発はもポ	への支援経よ 大ある。 大ある。 大ある。 で 大ある。 で た の で た の た に の た の た の り の り の り の り の り の り の り の り	を引きる。	き続き行う。 を対象とした体 層の充実を求め Lる。しかしな D志向が多様化 I入する三浦市
自己評価	目のに人及現 がし人及現 市らて育ま がし体体にい協会 では、い協会をする。	数はH28: かなはH28: かました かま	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を 民のスパーツ いくことでは	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウトロの増加若しく では、カース では、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、	また、宝ないり をととしなって言は、 で言は、大	方体育協 体体育協 はどい の の 戦市内 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	会へを活動した。	への支援経よ 大あるツ た。 で 大あるツ で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た	を験り 考民が見えの加直	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目のに人及現 がし人及現 市らて育ま がし体体にい協会 では、い協会をする。	数はH28: かなはH28: かました かま	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を 民のスパーツ いくことでは	29:1,230人でわず 中で、スポーツの 人口の増加若しく (側面から支える事 で振興に寄与してい で、次に乗りである。 で、次によっています。 では、またいまたいまたいます。 では、またいます。 では、またいまたいまたいます。 では、またいまで、またいまたいまで、またいまたいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまたいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまで、またいまでもで、またいまで、またいまでは、またいまで、またいまでもで、またいまでもで、またいまでいまで、またいまで、	また、宝ないり をととしなって言は、 で言は、大	方体育協 体体育協 はどい の の 戦市内 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	会へを活動した。	への支援経よ 大あるツ た。 で 大あるツ で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た	を験り 考民が見えの加直	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目のを加者を かかし 本語 は おり は お	数はH28: かなはH28: かました かま	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を 民のスパーツ いくことでは	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウトロの増加若しく では、カース では、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、	また、宝ないり をととしなって言は、 で言は、大	方体育協 体体育協 はどい の の 戦市内 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	会へを活動した。	への支援経よ 大あるツ た。 で 大あるツ で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た	を験り 考民が見えの加直	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目のを加者を かかし 本語 は おり は お	数はH28: かなはH28: かました かま	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を 民のスパーツ いくことでは	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウトロの増加若しく では、カース では、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、	また、宝ないり をととしなって言は、 で言は、大	方体育協 体体育協 はどい の の 戦市内 で の の の の の で の で の で の で の で の の で り で り	会へを活動した。	への支援経よ 大あるツ た。 で 大あるツ で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た	を験り 考民が見えの加直	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目のを加者を かかし 本語 は おり は お	数はH28: かなはH28: かました かま	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を 民のスパーツ いくことでは	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウトロの増加若しく では、カース では、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、	また、宝ないり をととしなって言は、 で言は、大	方体育協 体体育協 はどい の の 戦市内 で の の の の の で の で の で の で の で の の で り で り	会へを活動した。	への支援経よ 大あるツ た。 で 大あるツ で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た	を験り 考民が見えの加直	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目からでは おります かし 体に 大 を 成 の 広 る 会 育 の 広 る 会 育 は かし 体 上 い ぬ 手 い の 広 る 会 育 は かし 体 上 い かし かし かい ま で が し かい ま で が し かい ま で が し かい ま い かい ま で が し かい ま で い ま で い ま で い ま で い ま で い ま で い ま で い かい し かい ま で は で い ま で い ま で い ま で い ま で い ま で い ま で は こ で は こ	数はH28: を を を を を を を を を の たす。 や 市、 で 中、 で 中、 の 成 も の よ の よ の は も の は も の は の に の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に の は の に の は の に に に の に の に の に の に の に の に に に の に の に の に の に の に に 。 に に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	1,243人、H2 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を 民のののスポーツ いくこポーツ少	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウトロの増加若しく では、カース では、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、カー、	まをないり とと一体開 とはつ育させ	5体育協会によった。 それ、会先のでは、 たい、会先のでは、 それのでは、 会先のでは、 会先のでは、 会先のでは、 会先のでは、 またのでは、 またのでは	会へを活動した。	への支援経よ 大あるツ た。 で 大あるツ で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た。 で た	を験り 考民が見えの加直	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目の参加者を かかま かかり かかり かかり かかり かかり かかり かかり かかり かかり	数はH28: かはH28: を を を を を を の の たす。 や 市、 で や 市、 で の 成 あ を の の よ の の も の は の の は の の は の の は も の の は も の の は の の は も の の は の の は の の は の の は の の は の の は の の は の の は の の は の の の は の の は の の は の の は の の は の の は の の の は の の の の の は の の の の の の の の の の の の の	1,243人、E2 数が減少する め、スポーツ 建康促進等を と 性域のスとでツ いくこよーツ少 事業手法は	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウ人口の増加若しく で、スポーツの ウスが クトロの増加若しく で、スポーツの ウスが で、スポーツの ウスが で、スポーツの で、スポーツの で、スポーツの で、スポーツの が、スポーツの で、スポーツの で、スポーツの はない をするして ないか。 三浦市総 や年健全育成事業を	また 験す とと一体開 で言は大:	5体育協格 によった。 そい、会が、会を (位)	会会発見はもポを活動を	への支援経よ 大きるのではまた 大ありでは 大ありである。 大ありでは 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大きない。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たる	を験りと考えのからます。	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目かのに人及現 市らて育選た 市らて育選た 「	数はH28: よと を を を を を を の たす。 か き の の たす。 の たす。 の たず、 で 中 の 成 し 、 で も 、 て 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1,243人、E 数が減少する め、スポーツ 健康促進等を 民地域のことポーツ やスポーツ少 事業手法は 目標設定は	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウ人口の増加若しく ク人口の増加若しく クトリーンに クリーツ振興を シーツ振興を シーツ振興を シーンに から 大は ないか。 三浦 はないか。 一本は と 十年で、 スポーツの ウトリー フトリー フトリー フトリー フトリー フトリー フトリー フトリー フ	また、 験教まいり ではいか とはいう では大せ には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	5体育協格 によった。 そい、会が、会を (位)	会会発見はもポを活動を	への支援経よ 大きるのではまた 大ありでは 大ありである。 大ありでは 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大ありである。 大きない。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たるい。 たる	を験りと考えのからます。	き続き行う。 を対象とした体 を対象とした体 層の充実を求め しかしな しかしな の志向る三浦市 し、競技力向
自己評価	目かのに人及現 市らて育選た 市らて育選た 神業と 日本 本本 では持ち では持ち では持ち では持ち ではます。 一番は では、い協手い の広る会育。 日本 は本し、い協手い の広る会育。 日本 は、いは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	数はH28: 子長更を 力意兄育強化 ランク 4 4 4 東京	1,243人、 EX 数が、 スポーツ 建民地パスポーツ 建民地パスのこと デース は は は は は は は は は リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウ人口の増加若しく 他面から寄与しる施 が表しる が表しる が表しる が表しる が表する であり、予 が得られている を2年後に控え、	まないり で	5 体育 体 作 体 育 体 作 体 育 你 は に た に た に た い 、 会 充 で に た に た に た い 、 会 充 で に た に た に た い 、 会 充 で に た に た に た に た に た に た に た に た に た に	会会を発見しています。	へは動大あ一抜動大あ一次動た。団的においた高高はははははにはにはにはにににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににににいにいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	を射り さらない きょう きゅう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょ	き続き行う。を対象とした体層の充実を求める。向が多三人の表対をでいる。では、ないないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、
自 有意 教委 一 有意	目かのに人及現 市らて育選た 市らて育選た 神業と 日本 本本 では持ち では持ち では持ち では持ち ではます。 一番は では、い協手い の広る会育。 日本 は本し、い協手い の広る会育。 日本 は、いは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	数はH28: かはH28: かき現り を表見り かき兄う強化 カ意兄う強化 カ意兄う強化 カートで中しも事 カートで中、て業 カートで来 カーと カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カーと カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カートでを カー	1,243人、 E	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウ人口の増加若しく 他国面から寄与しるである。 で表して変調を図る 中で、スポーツの はであり、 であり、 を当であり、 であり、 を2年後に控える であり、 で2年後に控える。 で3年後に出される。 で3年後に出される。	ま教まいり で	5 体体育の は た い た の 難 市 の 実 の 業 し の 業 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し	会会発見面の式た。	へは動大あ一抜動大あ一抜動ら 心は活高動	を験り 考別なこれ まを引着一 えんか こうまんしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こ	き続き行う。を対象とした水の充実を対充実を対充を層の充実をを求める。向が多三は、かりまた、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、
自己評価 有意 教 育	目かのに人及現 市らて育選た 市らて育選た 神業と 日本 本本 では持ち では持ち では持ち では持ち ではます。 一番は では、い協手い の広る会育。 日本 は本し、い協手い の広る会育。 日本 は、いは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	数はH28: かはH28: かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 かまいたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたす。 もないたないたないたないたないたないたないたないたないたないたないたないたないたな	1,243人、 E	29:1,230人でわず 中で、スポーツの ウ人口の増加若しく 他面から寄与しる施 が表しる が表しる が表しる が表しる が表する であり、予 が得られている を2年後に控え、	ま教まいり で	5 体体育の は た い た の 難 市 の 実 の 業 し の 業 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し	会会発見面の式た。	へは動大あ一抜動大あ一抜動ら 心は活高動	を験り 考別なこれ まを引着一 えんか こうまんしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こ	き続き行う。を対象とした水の充実を対充実を対充を層の充実をを求める。向が多三は、かりまた、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、
自 有意 教委 一 有意	目かのに人及現 市らて育選た 市らて育選た 神業と 日本 本本 では持ち では持ち では持ち では持ち ではます。 一番は では、い協手い の広る会育。 日本 は本し、い協手い の広る会育。 日本 は、いは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	数 はH28 : かま はH28 : かま は H28 : かま な H28 : か	1,243人、 RE 数め、 建民地いや 事 目 具 リンの	29:1,230人でわず 中で、スポーツのく 中で、スポース 中で、スポース の中で、スポース の中で、スポース の中での増加若しく を変した。 であり、これで、 を変している。 を2年後がよっている。 を2年後がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を3を2年がよっている。 を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3	ま教ま とと一体開 定 ポー技 なるが 内なの で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	5 体 体 体 で に た に た の 数 に の 数 に の の 数 に の の の ま の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	会会発見面の式た。	へは動大あ一抜動大あ一大あー は利大あツ本をは活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいまする。はいまする。はいまする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。	を験り さらなられる まをに引者一 えんか直ら つ通意	き続き行う。を対象としている。青のでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない
自 有意 教委 一 有意	目か 普は がし体上い 評 書 標 業 体 外状を成 目 法 績 果	数 はH28 : かま はH28 : かま は H28 : かま な H28 : か	1,243人、 RE 数め、 建民地いや 事 目 具 リンの	29:1,230人でわず 中で、スポーツのく 中で、スポースの増加若しく の内にの増加若しく の内にあり、 の内にの地域であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	ま教ま とと一体開 定 ポー技 なるが 内なの で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	5 体 体 体 で に た に た の 数 に の 数 に の の 数 に の の の ま の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	会会発見面の式た。	へは動大あ一抜動大あ一大あー は利大あツ本をは活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいまます。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいまする。はいまする。はいまする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。はいままする。	を験り さらなられる まをに引者一 えんか直ら つ通意	き続き行う。を対象としている。青のでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない
自 有意 教委 一 有意	目か 普は がし体上い 評 書 標 業 体 外状を成 目 法 績 果	数 はH28 : かま はH28 : かま は H28 : かま な H28 : か	1,243人、 RE 数め、 建民地いや 事 目 具 リンの	29:1,230人でわず 中で、スポーツのく 中で、スポース 中で、スポース の中で、スポース の中で、スポース の中での増加若しく を変した。 であり、これで、 を変している。 を2年後がよっている。 を2年後がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を2年がよっている。 を3を2年がよっている。 を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3を3	ま教ま とと一体開 定 ポー技 なるが 内なの で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	5 体 体 体 で に た に た の 数 に の 数 に の の 数 に の の の ま の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	会会発見面の式た。	へは動大あ一抜動大あ一大あー は利大あツ本をは活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活まます。は活ます。は活まます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。は活ます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいます。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。はいまする。	を験り さらなられる まをに引者一 えんか直ら つ通意	き続き行う。を対象としている。青のでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない

No).				事業名	i				部	門	一体感	
5	8	4	:	教育講座事業						担		教育部	
	•		141	人日時圧す木		HIE HIE	果	文化スポーツ課					
665	_	大	綱	住み心地のよい	都市をめざして	~暮らしを支え	5	予	款	09	教育	費	
	合画	目	標	生きがいをもっ	項	05	社会	教育費					
П		施	策	生涯学習の推進				算	目	01	社会	教育総務費	
事	業費] (円)	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債			そ0	り他	一般財源	
当	初	予	算	125,000								125,000	
決	算	(見	込)	125, 000								125, 000	
執	行	Ţ	率 100.00%									- 100.00%	
予算			E100%超										
執行	又! 行なし	は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											

平成 29 年度 事業内容

子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが、様々な形で学習活動に取り組むことでお互いの個性や能力を伸ばし、生きがいに満ちた毎日を送るとともに、豊かな地域づくりという共通の目標に向けて共に学びあいお互いの知恵や経験を活かしていくことをめざして、社会教育講座実行委員会により各種社会教育講座の企画運営を行います。

南下浦市民センターでは、小学生と保護者が対象の「したうら塾」、シニア世代が対象の「趣味の農業」のほか、「海洋教育講座」等を行います。

初声市民センターでは、小学生と保護者が対象の「みちしお学級」のほか、「工芸講座」「料理講座」「歴史講座」「親子やきもの教室」等を行います。

		平成 2	9	年度 :	達成目標	平成	2 9	年度	実績	達成状	況
				委員会で	決定された社			員会で決	た定された社会	100%以上~1	25%未満
目標		育講座の第				教育講座を実				達成状況100%未	満の理由
<u>ځ</u>	美 施	講座数:37	旧			実施講座数:	37回				
実績											
					成果及び課題				課題に	<u> </u> 対する対処方針	
		実施し	た3			<u>-</u> 薬において参	加者を	実行		たな講座のアイ	デアや、講
						9%の方が講				その受講希望講座	
			「清	詩足」 と	回答されてお	おり、高評価	を頂い		による市民=	ーズの把握を引	き続き行
事務.		ている。		ノニマ	つん 1 内皿=	 構者アンケー	1 04	う。			
自己評	価		•			_再 有テンケー ズに見合った					
						としていく市					
		ズを今後	も的	確に把	握していく』	必要がある。					
		子ども	から	お年寄	:り (高齢者)	まで、様々	な市民	の学習	要求に応える・	べく、総合計画に	こ則って、
										いると考える。ま	
										しかし、市民の数	
有識意	者 見									、教室、講座を웨 員会での検討を路	
<i>™</i>	兀								自時圧失し安! 隹して欲しい。		日みん、川
		, , ,			_ , , , , , , ,					•	
		評価項	目	ランク				評	価		
		事業手	法	4	事業手法に	は適切であっ	った。				
		目標と身	ミ績 しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょく しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんし	5	目標が適り	刃で、十分7	な実績	をあげ	た。		
		事 業 効	□果	5	具体的効果	果が十分に?	导られ	ている	0		
教	育			三浦	で生活する市	7民が生涯を2	気持ち。	よく過ご	ごせる環境を作	乍ることは非常に	重要な事
委員										常に高いというこ	とは、内
総合評	価								らい かんしゅう はん)-
		付 帯 音	· 目							扁りが出ないよう とさらに活発にし	
		13 II E	. ,,,			ヽ´をしつかり; けてもらいた!		010	- 、 /公刊(10 野) で	ここりに伯光にし	、タトツ
						, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	. 0				

青少年教育課所管事業

No.			•	事業名	I				部	門	一体感
61	킅	小生	F姉妹都市国際	交流事業					咅	•	
		, ,	I NICONO HICOTORINA	X 7/10 - T X			部	果 青	青少年教育課		
<i>w</i> . ^	大	綱	一体感のある都	款	09	教育	費				
総合 計画	目	標	三浦が一体とな	る文化づくり	予算	項	05	社会都	教育費		
	施	策	市民文化の活動	の基盤づくり	·· //	目	06	青少年	年教育費		
事業到	費(円))	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債			その)他	一般財源
当 初	予	算	1, 335, 000		300, 000				1, (035,0	00
決 算	(見	込)	913, 120		456, 000				4	457, 0	00 120
執 1	亍	率	68. 40%	-	-			44. 1	5% -		
予算執行		%超	,						·		
	又は 行なしの理由										

平成 29 年度 事業内容

国際姉妹都市ウォーナンブール市との青少年の派遣と受入れによる相互交流事業を行い、青少年の国際的視野を 広げるとともに、受け入れた地域、学校における国際理解の向上を図ります。

また、派遣事業への意欲ある中学生、高校生の参加を促進するため、負担額の見直しを行い、保護者の負担軽減 を図ります。

	平成	2 9	年度	達成目標	平成	2 9	年度	実績	達成状況
	ウォーナンフ	ブール市	īからの ⁻	青少年の受入	ウォーナンブ・	ール市か	らの青少	年の受入れ:1	100%以上~125%未満
目標と	れ:1回 ウォーナンフ	ブール市	うへの青	少年の派遣:1	回 ウォーナンブ・	ール市へ	の青少年	Fの派遣:1回	達成状況100%未満の理由
実績	回	,		> ·		,.	. 142	1 1 1 1 1 1 1 1	
				成果及び課題	[課題に	対する対処方針
	ウッ	ォーナ	ンブー	ル市青少年派達	豊団6名を7	月11日	近年	のウォーナン	/ブール市側の受入れ体制の
	から1	6日の	6日間	受入れ、学校記	訪問やホーム	ステイ	状況や	バランスを考	5慮した派遣事業の見直しを
	体験等	等を通	し本市	の青少年や地域	或との交流を	深め	行う。		
	t-						併刊	- て会後の末ま	iの国際交流事業全休の動向

事務局 自己評価

在住の中高生8名を8月3日から18日の16日間現地とともに関係者等と連携して検討を進める。 へ派遣し、現地でのホームステイや学校生活等を体 験させた。帰国後の報告会では派遣生が交流を通じ て得られた体験や、自身が派遣テーマ等について学 んだことなど、相互交流や国際理解についてそれぞ れ報告があり、大きな成果となった

本事業の財源である地域活性化推進事業基金につ いては平成37年度以降不足する見通しであることか ら、本事業の実施手法については関係団体と連携し て検討する必要がある。

また、応募者21名より選考試験にて決定した市内 を見据えた事業のあり方について、財源の確保

有 識 者 意

青少年の国際理解を深めるこの事業は大きな評価を得ている。数多くの人材を輩出し、様々な所 で活躍している。また、三浦市にも交換留学生を迎えることで、国際的な理解を着実にできる事業 でもあり、平成29年度も堅実な取組ができたと考える。しかし、これからの事業の展開について検 討すべき点は多々ある。事業継続するための派遣生参加負担金をどうするか。「受け入れ事業参加 者の減少や他県・他市への訪問」「観光が増え、三浦での滞在日数が減っている問題」「ウォーナ ンブール市側の意識変化によるホームステイ先の減少」など、これからの検討課題を抜本的に整理 し、関係者と協議をお願いしたい。

	評価項目	ランク	評価
	事業手法	4	事業手法は適切であった。
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。
	事業 効果	4	具体的効果が得られている。
委員会総合評価	付 帯 音 目	感覚を 財源(市とウォーナンブール市との交流により、本市の将来を担う若者達が国際的な身につけることができ、人生観、人格形成にも影響する大事な事業である。 の確保という課題があるが、派遣負担額の見直し等、その確保と事業のあり方 てより具体的な検討に進むことで、恒久的な事業となるよう検討願いたい。

No).				事業名	i				部	門	一体	感
6	7	_	生 小く	丰指導員活動事	· *					咅	ß	教育	部
L	′		ョツー	十拍导貝泊勁手	未					調	ŧ	青少	年教育課
615	^	大	綱	一体感のある都	市をめざして~	款	09	教育	費				
総計	合画	目	標	一体感を育てる	人材育成	予算	項	05	社会	教育	費		
П		施	策	みうらっ子を地	域で育む風土づ	71	目	06	青少	年教	育費		
哥	事業費	1 円)	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債			その	他		一般財源
当	初	予	算	1, 243, 000		69,000							1, 174, 000
決	算	(見	込)	1, 166, 163		55, 000							1, 111, 163
執	行	Ţ	率	93.82%	_	-				-	94.65%		
予算	執行		0%超										
執	又 行なし		由										

平成 29 年度 事業内容

		地域ぐるみで 手との交流流			推進役とし		係団体		:りながら、パト	ロール
目標 と 実績	青少役員パトロ	平成 29 年指導員連絡 会開催:年4回 コール活動の実 年の健全育成に	協議会の 施	開催:年4回	平成 青少年指導員 役員会開催:年 愛のパトロール ルを実施した。 みうら市民まつ	連絡協議 :4回 運動や三	会の開催:	祭礼パトロー	達成状況 100%以上~125 達成状況100%未満	%未満
事 務 自己評		単位での活動を 生とたいのはのという のするなとは っているないという はようと	地域も、ん等少も 社域他ぱの年の がよりなり は数になる。 はなりではない。 はないではないではない。 はないではないではない。 はないではないではないではない。 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	する中、地区 青少年指導員 相関際の行い 育員活動の が少ない地域 が少ない地域	できます。	、を、にたて 中開成参。 青 ルカーツ	状況を の見直 青少 換等を	もの数や各地 勘案し、青少 しを図る。 年指導員主脩 通じて青少年	 対する対処方針 地域での青少年指導 シ年指導員の総数や 生の講習会や研修会 生の講習会や研修会 上に向け取り組んで	選出方法 、情報交 進役とし
有 識	者見	において、k 導員は地域で 会として、青 に、青少年の しかし、が 起こっている	いじめやでの青少年からのためにある。ここ	犯罪が潜在化年健全育成の 等員との連携 啓発や地域の 子どもの数の 何年か問題だ	とし、問題が の連携の中心 隽を図りなが への貢献等の の減少という	発し、動でるが、	にくくな の役割が 少年の育 つい も 導員の 、 教育委	っている。 があると考え がが地道に 評価できる 数を確保す	ンターネット等情報 このような時代、報 る。平成29年度も表 進められたと考える。 。 るのが難しいという 本事業の指針やその	青少年指 教育委員 る。特 う状況も
		評価項目	ランク		***************************************		評	価		
		事業手法	3		はおおむねi				S 1 2.	
		目標と実績事業効果	3		3むね妥当~			ル実績を得	られた。	
数 委員 総合評			の健全で 切である 子どい いようし	とや地域社会 育成、見守り る。 も会の減少等	において大いで大いで活動の規模で活動の規模である。	の希薄(切な役割 関が小る	比の中で 削を担っ さくなる	ている青少年 中、活動自作	のパイプ役となり、 実指導員の活動は非 本が指導員の負担に 幾応変に対処してこ	常に大

6 総括表

点検・評価のうち、事業手法、目標と実績及び事業考課の3つの評価項目別 評価結果を課ごとにまとめると、次の表7のとおりとなります。

【表7:点検・評価総括表】

					f 管i	果		
		評価項目別ランク	教育総務課	学校教育課	学校給食課	ス ポ	青少年教育課	計
	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。	1	0	1	0	0	2
事	4	事業手法は適切であった。	2	6	0	2	1	11
業手	3	事業手法はおおむね適切であった。	0	0	0	0	1	1
法	2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。	0	0	0	0	0	0
	1	事業手法の見直しが必要である。	0	0	0	0	0	0
	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。	1	1	1	1	0	4
目	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。	2	5	0	1	1	9
標と実	3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。	0	0	0	0	1	1
績	2	目標設定に課題があり、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
	1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
	5	具体的効果が十分に得られている。	1	1	1	1	0	4
事	4	具体的効果が得られている。	2	5	0	1	1	9
業効	3	一定の効果は得られている。	0	0	0	0	1	1
果	2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。	0	0	0	0	0	0
	1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。	0	0	0	0	0	0
		点検·評価対象事業数	3	6	1	2	2	14

Ⅲ 教育委員会活動状況報告

1 教育委員会教育長·委員名簿

点検・評価の実施主体である地教行法第3条に基づく三浦市教育委員会の 教育長及び委員は、下記の表8のとおりです。

【表8:三浦市教育委員会教育長・委員名簿】

平成29年10月1日現在

役	職	氏	î		名	就任年月日	任期
教育	長	<u>ئے</u>	かべ 壁	のぶ伸	雄	平成27年10月1日	平成27年10月1日 ~平成30年9月30日
教 育 職務代理	長 ! 者	lた 下	ぎと 里	矩	** 生	平成27年10月1日	平成27年10月1日 ~平成31年9月30日
委	員	so 松	お尾	っね 恒	03 廣	平成26年10月3日	平成26年10月3日 ~平成30年10月2日
委	員	たま 王	井	恵	理	平成28年10月1日	平成28年10月1日 ~平成32年9月30日
委	員	いろ	瀬	se 牧	実	平成29年10月1日	平成29年10月1日 ~平成33年9月30日

2 教育委員会会議

(1) 開催状況

三浦市教育委員会は、原則として、毎月 1 回の三浦市教育委員会定例会を開催しています。平成 29 年度においては、次の表 9 のとおり定例会 12 回、臨時会 1 回を開催し、議案 25 件を審議しました。

【表9:平成29年度教育委員会会議の開催状況】

開催日	会議	付議事件数
平成29年 4月27日(木)	第4回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	〇教育長報告3件〇報告事項6件〇審議事項2件〇その他事業報告3件
5月31日 (水)	第5回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	〇教育長報告4件〇報告事項1件〇審議事項2件〇その他事業報告8件

開催日	会議	付議事件数
6月28日(水)	第6回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 なし	〇教育長報告3件〇報告事項2件〇審議事項2件〇その他事業報告7件
7月24日 (月)	第7回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	O 教 育 長 報 告3件O 報 告 事 項3件O 審 議 事 項3件O その他事業報告3件
8月 3日 (木)	第1回臨時会 欠席委員 なし 傍 聴 者 13名	O審議事項1件
8月23日 (水)	第8回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 2名	〇教育長報告2件〇報告事項3件〇審議事項2件〇その他事業報告5件
9月28日 (木)	第9回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 なし	〇教育長報告4件〇報告事項3件〇審議事項0件〇その他事業報告13件
10月26日(木)	第10回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 なし	〇教育長報告 4件 〇報告事項 4件 〇審議事項 1件 〇その他事業報告 8件
11月27日(月)	第11回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	〇教育長報告3件 〇報告事項3件 〇審議事項1件 〇その他事業報告7件
12月19日(火)	第12回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	〇教育長報告4件〇報告事項2件〇審議事項0件〇その他事業報告5件
平成30年 1月18日(木)	第1回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	〇教育長報告3件〇報告事項1件〇審議事項0件〇その他事業報告5件
2月20日 (火)	第2回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	〇教育長報告4件〇報告事項3件〇審議事項3件〇その他事業報告6件
3月29日 (木)	第3回定例会 欠席委員 なし 傍 聴 者 1名	〇教育長報告3件〇報告事項4件〇審議事項8件〇その他事業報告5件
定例教育委員 臨時教育委員		〇教育長報告 40件 〇報告事項 35件 〇審議事項 25件 〇その他事業報告 75件

(2) 審議等の状況

前述のとおり、三浦市教育委員会の会議では、定例会 12 回、臨時会 1 回を 開催し、審議事項(議案) 25 件の審議・採決を行ったほか、教育長報告 40 件、報告事項 35 件、その他事業報告 75 件について報告がされています。 その案件は、次の表 10~表 13 のとおりです。

【表 10:教育長報告案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	今年度の小中学校の人事異動について	
2	今年度の小中学校の児童・生徒数について	平成29年 4月27日
3	平成29年4、5月の事業・行事等について	17,12.
4	新年度の小中学校及び教育委員会の状況について	
5	平成29年5月の事業・行事等について	r □ 01 □
6	神奈川県内の教員の不祥事について	5月31日
7	平成29年第2回三浦市議会定例会について	
8	三浦市長選挙の結果等について	
9	平成29年第2回三浦市議会定例会について	6月28日
10	6月及び7月の主な行事等について	
11	平成29年第2回三浦市議会定例会について	
12	平成29年7月、8月の事業・行事等について	7月24日
13	三浦市の災害対策について	
14	新体制での8月の三浦市政について	онооп
15	平成29年第3回三浦市議会定例会について	8月23日
16	教員の不祥事について	
17	中学校体育祭について	9月28日
18	平成29年第3回三浦市議会定例会について	9月 20日
19	平成29年10月の行事等について	
20	教員の不祥事について	
21	台風等の被害状況について	10月26日
22	平成30年度予算編成方針について	10月20日
23	学校訪問について	
24	平成29年11月の行事等について	
25	平成29年第4回三浦市議会定例会について	11月27日
26	11月の定例校長会について	
27	平成29年第4回三浦市議会定例会について	
28	年末年始における綱紀粛正について	12月19日
29	年明けの主な事業について	14万19日
30	平成29年を振り返って	

番号	案 件 名	報告日
31	平成30年1月の事業・行事等について	
32	小中学校の学級閉鎖について	平成30年 1月18日
33	平成30年度予算編成の取組み状況について	
34	インフルエンザによる学級閉鎖について	
35	高校入試について	2月20日
36	平成30年第1回三浦市議会定例会について	2月20日
37	今後の主な事業・行事について	
38	2月、3月の行事について	
39	平成30年第1回三浦市議会定例会について	3月29日
40	年度末・年度始めの行事について	

【表 11:審議事項案件一覧】

番号	案 件 名	審議日
H29- 9	三浦市教科用図書採択検討委員会について	平成29年
10	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	4月27日
11	三浦市指定重要無形民俗文化財の指定について	5月31日
12	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	9月31日
13	平成29年度三浦市一般会計補正予算(第1号)に関する申出について	6月28日
14	平成29年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価基本方針について	0月20日
15	平成30年度使用小学校教科用図書の継続採択について	
16	平成30年度使用中学校教科用図書の継続採択について	7月24日
17	要望書の取扱いについて	
18	平成30年度使用小学校教科用図書(道徳)の採択について	8月3日
19	平成29年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価について	8月23日
20	三浦市国際交流推進英語非常勤講師の委嘱について	0月23日
21	三浦市教育委員会教育長職務代理者の指名について	10月26日
22	平成29年度三浦市一般会計補正予算(第5号)に関する申出について	11月27日
H30- 1	平成29年度三浦市一般会計補正予算(第6号)に関する申出について	
2	平成30年度三浦市一般会計予算に関する申出について	2月20日
3	県費負担教職員の人事異動について	

番号	案 件 名	審議日
4	白秋記念館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	
5	平成30年度三浦市立小・中学校使用教科用図書採択方針について	
6	三浦市社会教育委員の委嘱について	
7	三浦市社会教育指導員の委嘱について	3月29日
8	三浦市文化財保護委員の委嘱について	3月29日
9	三浦市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	
10	三浦市青少年指導員の委嘱について	
11	教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事異動について	

【表 12:報告事項案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	平成29年3月の後援名義等使用について	
2	平成29年度奨学事業について	
3	三浦市教育大綱について	平成29年
4	三浦市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領について	4月27日
5	三浦市社会教育委員充て職委員について	
6	三浦市スポーツ推進審議会委員充て職委員の決定について	
7	平成29年4月の後援名義等使用について	5月31日
8	平成29年5月の後援名義等使用について	6月28日
9	一般社団法人みうら学・海洋教育研究所に係る決算及び事業計画について	0月20日
10	平成29年6月の後援名義等使用について	
11	平成29年第2回三浦市議会定例会の状況について	7月24日
12	平成28年度学校給食事業(平成28年度決算)について	
13	平成29年7月の後援名義等使用について	
14	三浦市民ホール指定管理者の公募について	8月23日
15	三浦市総合体育館等指定管理者の公募について	
16	平成29年8月の後援名義等使用について	
17	平成29年第3回三浦市議会定例会の状況について	9月28日
18	平成29年度全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果について	
19	平成29年9月の後援名義等使用について	
20	平成29年第3回三浦市議会定例会の状況について	10月26日
21	平成30年度予算編成方針について	10/120 H
22	平成29年度三浦市図書館利用者満足度調査集計結果について	

番号	案 件 名	報告日
23	平成29年10月の後援名義等使用について	
24	平成28年度児童・生徒の問題行動等調査結果について	11月27日
25	三浦市立上宮田児童会館の指定管理者の指定期間変更に関する基本方針について	
26	平成29年11月の後援名義等使用について	12月19日
27	平成29年第4回三浦市議会定例会の状況について	12月19日
28	平成29年12月の後援名義等使用について	平成30年 1月18日
29	平成30年1月の後援名義等使用について	
30	三浦市いじめ防止基本方針(案)について	2月20日
31	専決処分の議会への報告について	
32	平成30年2月の後援名義等使用について	
33	平成30年第1回三浦市議会定例会の状況について	3月29日
34	三浦市生涯学習計画の策定について	3月29日
35	三浦市立小学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針(骨子案)について	

【表 13: その他事業報告案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	平成29年度事業計画について	
2	第20回「わんぱく相撲三浦場所」の開催について	平成29年
3	三浦市社会教育講座「工芸講座〜ポーセラーツふた付き小物入れ作り〜」の開催について	4月27日
4	第20回「わんぱく相撲三浦場所」の開催結果について	
5	三浦市子どもの船事業について	
6	三浦市姉妹都市交流事業について	
7	三浦市青少年姉妹都市国際交流事業について	5 H 91 D
8	三浦市社会教育講座「海洋教育講座」の開催について	5月31日
9	三浦市社会教育講座「子ども絵画教室」の開催について	
10	三浦市社会教育講座「工芸講座」~ニットベスト作り~の開催について	
11	三浦市社会教育講座「みちしお学級」の開催について	

番号	案 件 名	報告日
12	夏のスポーツ行事について	
13	みうらっ子ライブラリー「花いっぱいになあれ読書スタンプラリー」の開催結 果について	
14	みうらっ子ライブラリー「こわーい!?おはなし会」の開催について	
15	三浦市社会教育講座「みうらの野菜をおいしく食べる料理講座」の開催について	6月28日
16	三浦市社会教育講座「したうら塾」の開催について	
17	三浦市社会教育講座「親子やきもの教室」の開催について	
18	平成29年度版 三浦市社会教育講座について	
19	国指定重要無形民俗文化財「三戸のオショロ流し」の実施について	
20	みうらっ子ライブラリー「おばけすごろく」の開催について	7月24日
21	三浦市社会教育講座「子どもパン教室」の開催について	
22	平成29年度三崎中学校プールー般開放の実績について	
23	平成29年度青少年教育夏期事業実施報告について	
24	三浦市社会教育講座 体操講座「肩こり・腰痛すっきり体操」の開催について	8月23日
25	三浦市社会教育講座 工芸講座「プリザーブドフラワーで作る仏花(お供え 花)アレンジ」の開催について	
26	みうらっ子ライブラリー「こわーい!?おはなし会」の開催結果について	
27	第47回三浦市学校保健大会の開催について	
28	三浦市指定重要無形民俗文化財「第45回いなりっこ発表会」の開催について	
29	神奈川県指定無形民俗文化財「菊名の飴屋踊り」奉納上演について	
30	第63回三浦市文化祭の開催について	
31	第39回市民スポーツ大会の開催について	
32	第63回三浦市総合体育大会の開催について	
33	第53回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催について	9月28日
34	みうらっ子ライブラリー「おりがみでつくる絵本のせかい」の開催について	
35	みうらっ子ライブラリー「サンタのおしごと読書スタンプラリー」の開催について	
36	第38回南下浦市民センター公民館フェスティバルの開催について	
37	三浦市社会教育講座 「編み物講座」~簡単手作りマフラー~の開催について	
38	第36回初声市民センターまつりの開催について	
39	三浦市社会教育講座 「歴史講座」 ~明治初期の三浦の人々~の開催について	

番号	案 件 名	報告日
40	第39回市民スポーツ大会の結果について	
41	第23回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催について	
42	三浦市指定重要無形民俗文化財 奉納 「海南神社の面神楽」の開催について	
43	第13回うどん祭りの開催について	
44	三浦市社会教育講座「工芸講座」~クリスマスフラワーアレンジ~の開催について	10月26日
45	三浦市社会教育講座「工芸講座」~ミニ門松作り~の開催について	
46	三浦市社会教育講座「料理講座」薬膳料理~若さを保つ冬の養生~の開催について	
47	三浦市社会教育講座「工芸講座」鎌倉彫~ひし形のコースター作り~の開催について	
48	第23回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催結果について	
49	第53回三浦市青少年問題協議会地区大会(講演会)の開催結果について	
50	第13回うどん祭りの開催結果について	
51	平成30年三浦市成人の日のつどいの開催について	11月27日
52	みうらっ子ライブラリー〜おりがみでつくる絵本のせかい〜の開催結果について	
53	三浦市社会教育講座「工芸講座」~アートフラワーで作る正月リース~の開催 について	
54	三浦市社会教育講座「料理講座」~おもてなし料理~の開催について	
55	ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納につ いて	
56	第64回文化財防火デーについて	
57	三浦市社会教育講座「季節の料理講座」飾りまき寿司"春"ランチの開催について	12月19日
58	三浦市社会教育講座「趣味の農業」20期生募集について	
59	三浦市社会教育講座 三浦ゆかりの歌を歌いましょうの開催について	
60	第21回三浦市学校給食展の開催について	
61	平成30年三浦市成人の日のつどいの開催結果について	
62	みうらっ子ライブラリー「サンタのおしごと読書スタンプラリー」の開催結果 について	平成30年 1月18日
63	三浦市社会教育講座「やさしく学ぶ仏像講座」~鎌倉時代の仏像と文化財~の 開催について	
64	三浦市社会教育講座「料理講座」~キャベツを使った料理~の開催について	
65	平成29年度市内小・中学校卒業式について	
66	第36回三浦国際市民マラソンの開催について	
67	第72回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の結果について	_
68	みうらっ子ライブラリー~はじまりのおはなし会~の開催について	2月20日
69	三浦市社会教育講座「親子農業体験教室」〜親子でふれあう農業体験〜の開催 について	
70	三浦市社会教育講座「子ども料理教室」の開催について	

番号	案 件 名	報告日
71	第21回学校給食展の実施結果について	
72	第36回三浦国際市民マラソンの実施結果について	
73	みうらっ子ライブラリー~はじまりのおはなし会~の開催結果について	3月29日
74	三浦市社会教育講座「サタデーボックス」子ども将棋教室、子ども囲碁教室の 開催について	
75	三浦市社会教育講座「春の健康体操講座」の開催について	

3 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議以外にも、教育委員会委員は、様々な教育関係の活動を積極的に行っています。教育関係行事への参加、学校訪問、会議への出席など、その主なものは次の表 14 のとおりです。

【表 14:教育委員会会議以外の活動状況】

番号	月日	活動等の名称	活動内容	区分	所管課
1	平成29年 4月28日(金)	三浦市青少年姉妹都市国際交流 実行委員会(第1回)	委員として出席	会 議	青少年教育課
2	5月 7日(日)	第20回わんぱく相撲三浦場所	若宮相撲場にて開催の「わんぱく 相撲三浦場所」の開会式に出席	式 典	文化スポーツ課
3	5月16日(火)	三浦市教育懇談会	平成29年度三浦市教育懇談会に出 席	懇 談 会	教育総務課
4		岬陽小、名向小、南下浦小、上 宮田小、旭小、剣崎小、初声小 運動会	学校訪問	事業参加	学校教育課
5	5月28日(日)	三浦市青少年姉妹都市国際交流 実行委員会(第2回)	委員として出席	会 議	青少年教育課
6	6月 5日(月) ~6月10日(土)	三崎中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
7	6月 5日(月) ~6月11日(日)	南下浦中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
8	6月 6日(火) ~6月10日(土)	初声中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
9	6月13日(火) ~6月16日(金)	岬陽小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
10	6月14日(水) ~6月16日(金)	名向小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
11	6月19日(月) ~6月23日(金)	三崎小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
12	6月19日(月) ~6月23日(金)	初声小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
13	7月15日(土)	三浦市・ウォーナンブール市青 少年親善パーティ	主催者として列席	式 典	青少年教育課
14	7月29日(土)	須坂市交流事業「合同宿泊」	交歓会に出席	事業参加	青少年教育課
15	8月 3日(木)	三浦市教育委員会所管事務事業 点検・評価事業別ヒアリング	三浦市教育委員会所管事務事業点検・ 評価に関する有識者との合同の事業別 ヒアリングに出席	会 議	教育総務課

番号	月日	活動等の名称	活動内容	区分	所管課
16	8月 3日(木)	ウォーナンブール派遣生壮行会	委員として出席	事業参加	青少年教育課
17	8月22日(火)	ウォーナンブール派遣生報告会	委員として出席	事業参加	青少年教育課
18	9月16日(土)	三崎中、南下浦中体育祭	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
19	9月19日(火)	初声中体育祭	学校訪問	事業参加	学校教育課
20	9月23日(土)	三崎小 キッズ発表会	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
21	9月27日(水)	三浦市青少年問題協議会	委員として出席	会 議	青少年教育課
22	10月 8日(日)	第39回市民スポーツ大会	三崎中学校・南下浦中学校・初声小学校にて開催の「市民スポーツ大会」の 開会式に出席	式 典	文化スポーツ課
23	10月14日(土)	三浦市中学校駅伝大会兼県中学 校駅伝大会三浦市予選会	初声中学校で開催の「駅伝大会」 の式典に出席	式 典	学 校 教 育 課
24	10月18日(水) ~10月21日(土)	岬陽小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
25	10月19日(木)	三浦市学校保健大会	講演会を傍聴	事業参加	学 校 教 育 課
26	10月20日(金)	三崎中 福祉文化祭	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
27	10月20日(金)	南下浦中 合唱祭、文化祭	学校訪問	事業参加	学校教育課
28	10月20日(金)	初声中 福祉文化祭	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
29	10月21日(土)	三崎小 運動会	学校訪問	事業参加	学校教育課
30	10月23日(月) ~10月27日(金)	名向小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
31	10月28日(土)	名向小 50周年記念式典	式典参加	式 典	学校教育課
32	10月28日(土)	初声ふれあいコンサート	三浦臨海高校で開催の小中高合同 のコンサートに参加	事業参加	学 校 教 育 課
33	11月 4日(土)	三浦市青少年問題協議会地区大 会	委員として出席	事業参加	青少年教育課
34	11月12日(日)	第23回三浦市城ヶ島駅伝競走大 会	城ヶ島島内にて開催の「城ヶ島駅 伝競走大会」の開会式に出席	式 典	文化スポーツ課
35	11月13日(月) 17日(金) 22日(水) 24日(金)	学校訪問	小学校8校、中学校3校を訪問。 主な取り組み等について説明を受け、校内を視察した。	学校訪問	教育総務課
36	11月25日(土) 26日(日)	三浦市創造展	児童生徒の作品を観覧	事業参加	学校教育課
37	11月30日(木) ~12月 2日(土)	初声小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
38	平成30年 1月8日(祝・月)	成人の日のつどい	主催者として列席	式 典	青少年教育課
39	1月26日(金)	三崎小 研究発表会	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
40	2月24日(土)	海洋教育の集い	岬陽小学校で開催の「海洋教育の 集い」に参加	事業参加	学 校 教 育 課
41	2月24日(土)	学校給食展	給食展を見学	事業参加	学校給食課
42	3月 4日(日)	第36回三浦国際市民マラソン	三浦海岸にて開催の「マラソン大 会」の開会式に出席	式 典	文化スポーツ課
43	3月 9日(金)	中学校卒業式	卒業式への参加	式 典	学 校 教 育 課
44	3月20日(火)	小学校卒業式	卒業式への参加	式 典	学 校 教 育 課
45	3月23日(金)	三浦市青少年姉妹都市国際交流 実行委員会(第3回)	委員として出席	会 議	青少年教育課
46	3月29日(木)	第1回三浦市総合教育会議	委員として出席	会 議	教 育 総 務 課

○義務教育に関すること

三浦の特性を生かしながら、特色ある学校づくりを進めていかなければならない中で、三浦の教育の特長として定着してきている海洋教育は、「海洋教育のつどい」や、市内全校での授業の実施など、年々成果を上げています。今後も三浦らしい教育の推進のため、新しい指導方法の研究や改善に取り組むほか、専門性を持った地域の方への働きかけを行い、支援を得ていくことも必要です。

小・中学校あわせて 11 校という中で、地域と学校が連携をして、児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう配慮されています。小学校の適正規模・適正配置が今一番の課題となっていますが、子どもたちのために何が最善の道なのか、地域社会と十分な話し合いを持ちながら理解を深めていかなければなりません。また、大雨や猛暑などの異常気象が増える中、子どもたちが安全に過ごせるような環境についても、段階的に整備されるよう検討を望みます。

○生涯学習に関すること

学びは、人がこの世に誕生してから、生涯を全うするまで、全ての人間が現役であると考えます。市民の学習要求に対して、幅広い分野で文化や教養を学ぶ場を提供することは非常に重要な事であり、三浦ならではのものや、子どもから大人までを対象とした様々な講座が用意され、多くの方に受講していただいていることは素晴らしいことです。

学習することで脳の活性化が促され、認知症の予防になるなど、高齢化社会においても生涯学習は重要な位置を占めます。誰でも、いつでも学習機会を自由に選択でき、生活をより豊かにするためにも、新たな指導者の発掘を行うとともに、更なる機会の提供と創意工夫を期待します。

○青少年に関すること

青少年に関わる痛ましい事件や事故が多発しています。現代の青少年は、少子化、スマートフォンの普及、人間関係の希薄等の問題もある中で、社会の一員としての意識が低いのではと危惧していますが、小中学校において道徳が教科化されることにより、モラル、情報社会のあり方、災害への対応等も授業で学べることが良い影響を与えてくれると期待しています。また、地域における多様な人との関わりや、共同体験の機会も必要となっており、青少年指導員など、地域の関係者の役割はますます重要になってきています。

三浦は小さい市だからこそ、目が行き届いた活動のできるメリットも多くあるのではないでしょうか。ゆったりと時が流れる温暖な気候に恵まれた三浦の地で、青少年が三浦の良さを理解し、地元で活躍する社会人に成長できる環境を作っていかなければ、三浦の将来展望は見えてきません。青少年育成は責務

であるとの自覚を持ち、現代の青少年の意識について理解する努力を怠らず、青少年の問題と将来について考えていかなければなりません。

○社会体育に関すること

オリンピックも控え、スポーツに対する役割や機能は、より期待度が増して きています。

スポーツは、個人の趣味や健康増進のためだけでなく、市民同士の交流など、 地域のコミュニティの活性化にも繋がると考えます。あらゆる世代の方が各種 イベントに参加して、そのエネルギーを結集できる場を作っていくことは大事 なことです。

また、身近に運動できる施設が整っていることは重要であり、施設の老朽化に対する整備も必要です。

指導者の育成、発掘など、教育委員会としても尽力していくことを願います。

○給食に関すること

給食は適切な栄養を摂取し、正しい食生活の習慣を身に着けるだけでなく、 様々なメニューや食材に触れることができ、感謝の気持ちを育てたり、仲間と 一緒に食べる楽しさや、感性を磨くことのできる機会です。

三浦市の給食事業は、地産地消の新しいメニュー開発などに前向きに取り組み高く評価できます。「アレルギーの児童・生徒への配慮、衛生管理」、年に数回あるお弁当の日も、家庭内で食について考える良い機会になっています。

これからも、美味しく安全安心な給食が提供され、子どもたち一人一人が給食の時間を喜びとできることを願います。

○教育委員会全般に関すること

時代が大きく変化している中、教育委員会に求められるものは大きくなっています。

特に、小学校教育環境適正化は、これからの三浦市の教育において最重要課題です。地域での懇談会を実施し、様々な意見を聞き、最善な方法を見つけ出していかなければならないと思います。このとき、施策等の情報を十分に知らせる努力をし、地域の信頼を得ていきたいものです。

このほか、コンピューター教育の一環として、プログラミング言語を小学校 教育に導入することや、外国語活動や国際交流の充実など、様々な事に対応し ていくために、チームとしての機能を更に強化できるよう、一人一人が意識を 持って努力されることを望みます。

平成30年度(平成29年度実施事務事業) 三浦市教育委員会所管事務事業 点検・評価報告書

発行日: 平成30年8月20日

編 集:三浦市教育委員会 教育部 教育総務課

発 行:三浦市教育委員会

〒238-0298 三浦市城山町1番1号

TEL:046-882-1111(代)/FAX:046-882-1160

E-mail:kyoui0101@city.miura.kanagawa.jp